京城日報

本紙定價　發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之

一月二十五日夕刊（朝夕併せて八頁）

第四十一帝國議會

貴族院（二十四日）

▼本會議（列よりく）後一時半開會　高橋作衛氏の質問に答ふ可く

▲内田外相　登壇（一）西伯利鐵道管理問題は四國に於て協議しつゝあり（二）長春、松花江間の通道は既得權なるや否や之れ重要問題なり限りに之を既得權こするも我帝國は此の既得權を侵害するが如き事無く又積極的に何者も要求せる事無し（三）松花江黑龍江交通權は門放さるゝ事疑ひ無し（四）將來獨逸の勢力が露國に及ぶ事無かる可しこ信ず（五）國際聯盟に就ての形式が如何なるものなるかは不明なりこ答へ次いで

▲田中陸相　登壇、日本出兵の効果に就き簡單に說明するや高橋氏自席より外相の答辯は滿足なるも首相の答辯は不得要領なりしを以て質問を他日に保留すべしこ述ぶ夫より日程に入り大正七年法律第廿號中改正法律案外一法律案を議し委託附託こなり同四時散會せり（東京特電）

▼豫算委員會

貴族院豫算委員會は廿四日本會議終了後開會委員長に濱田德則氏、副委員長に前田利定子を互選し午後五時散會せり（東京特電）

衆議院（二十四日）

▼豫算委員總會

二十四日午後一時廿分開會大臣側は貴族院本會議の爲め高橋藏相加藤海相のみ出席直ちに質問に入る

▲小川鄉太郎氏（政新）所得稅改正は焦眉の急なり政府は何等かの成案ありや、戰時利得稅廢止の後之に代る何等かの新稅を設置するや否やを問ふ

▲高橋藏相　所得稅改正は其體的成案を得ず、戰時利得稅は戰後之を廢止するは當然なりこ答ふれば小川氏は政府は如何なる支出を公債に依らんこするか政府は減債基金制度を今後も必要こ認むるやこ問ふ之れに對し高橋藏相は總しの經費を公債に依らんこするに非ず減債基金は今日之を廢止する考へ無しこ述ぶ小川氏は八年度經濟界に對する政府の所見如何高橋藏相八年度の經濟界は多少不景氣を見越して豫算を編成せり小川氏所得稅、通行稅、他增收見積は不景氣を見越して見積たるものこしては餘りに過大に失せずや高橋藏相詳細は何れ分科會にて答辯す可しこ答へ尙製鐵所增收過大見積の質問に對し

▲白仁製鐵所長官　は戰後の鐵價に就ては一噸平均三百三十八圓見當を標準こせりこ述べ次に租稅收入の見積りに就て松本政府委員より說明し、小川氏更に質問を爲し海軍造艦費五千二百萬圓を計上しあるは半箇年分なりやこ問ふ之に對し

▲加藤海相　右は一箇年なりされご經費不足なるを以て追加豫算を提出す可しこ答ふ、小川氏は更に物價騰貴の關係に就き質問すれば高橋藏相は物價騰貴の因は需給の關係なりこ藏相一流の答辯を爲し滿場哄笑す次で上田彌兵衞氏（新政）は稅制整理に就き正木照藏氏（憲政）は船舶管理令存廢並に航路補助に關し押川方義氏（無所屬）は危險思想の取締義務的教育の待遇に就き質問夫々答辯あり午後四時散會せり（東京特電）

◇英首相 對露態度實相

倫敦來電＝路透社の探知する所に依れば去る十四日傳へられたる英國首相ロイドジョージ氏の露國に對する態度に就て惹起されたりこ覺しき誤解に關しては同氏は露國代表者こしてレニン、トロッキー兩氏を講和會議に列席せしむべしこ提議したるに非ず他の聯盟國が露國の形勢に關して充分且つ確實なる情報を得んが爲め露國各派の輿論を代表する者を巴里に招き其意見を陳述せしむべしこ主張したるものにして露國代表者を會議に列席せしむべしこの意には非ずこ（東京特電）

◇愛蘭國民議會

＝獨立宣言發表＝

倫敦來電＝二十一日愛蘭に於て一般集會禁止令發布されたるが同

◇過激派革命運動

印度、支那並に巴爾幹に於て

倫敦來電＝路透社に達したる信憑すべき筋よりの報道に曰く過激派は數箇月に亘り支那印度並に巴爾幹に於て革命煽動の爲め大規模の運動を爲しつゝあるが機會を得るや否や直ちに亞細亞全土に亘つて紛擾を惹起せしむる計畫の下に大金を費して手先を派遣すべき準備成り居れりこ（東京特電）

◇過激派擊滅計畫

浦鹽來電＝浦鹽に於て最近過激派著しく擡頭せるを以て有產階級の一部は彼等をして擾亂を起さしめ然る後外國の兵力を借り一網打盡的に擊滅せんこする計畫あり十八日午後市長アカレフ氏の狙擊せられたるも此の陰謀に關係ありこ稱せらる、因にアガレフ氏は無事なら（東京特電）

◇日本へ百萬石

英國へも＝支那米輸出決議

北京來電＝米輸出に就き農商工部は大要左の決議を國務會議に提出すべし（東京特電）

一、日本及び英國へ各百萬石を輸出する事

二、袋每に許可證を與へ其手數料二元こす而して其許可證を所持せず輸入を爲す者は內外人を問はず取締方法を設けて處罰すべし

◇園侯一行香港著

＝二十四日新嘉坡に向け出發

香港來電＝二十三日午前九時西園寺侯一行上陸侯及び八郎氏夫妻三浦博士、松岡氏等は日本郵船會社々宅に他は香港ホテルに投宿せり。日本居留民は香港ホテルに於て歡迎會を催し又香港總督は一行を招待したるが西園寺侯は總ての招待を辭退し訪問客に接せず丹波丸は二十四日新嘉坡に向け拔錨の筈（東京特電）

◇外調委員會 開期

廿六日午前十時より永田町首相官邸にて臨時外交調査委員會を開會すべし（東京特電）

◇チエツク代表通過

講和會議に參列す可きチエツク代表者一行は廿六日滿鐵特別車にて長春より來奉少憩の上京奉線に移乘天津經由上海に出で夫より佛國に向ふ豫定なり（奉天特電）

◎◎◎◎歸還出征兵 南下

廿二日南下し來りたる第三師團豫後備兵は廿五日午前十一時廿分奉天發朝鮮經由歸國の途に就く可く當日奉天驛にて盛大なる歡迎送ある筈（奉天特電）

◇米國大使通過

駐日米國大使モーリス氏一行は二十五日來奉直ちに長春經由哈爾賓に向へり（奉天特電）

○長期公債發行

近々紐育にて發行せらるべき英國の二十年期限五分半利附新公債引受けのためモルガン、カンパニーは目下シンジゲートを組織中なり右公債は本年二月一日期限英國政府債券一億五千萬弗中現金償還所要資金を調達するものにして參戰後長期の該國債應募の先驅なり又「ウエッブ」法に基き米國にて輸出合同の組織せられたるもの既に約六十に達せり（朝鮮銀行入電）

○朝鮮統治狀況（七）

大正七年に於ける諸般施設

司法（上）

裁判所及び檢事局に於ける民事及び刑事に關する事件は比年遞加の趨勢に在り大正七年に於ける各種事件亦前年に比して著しく增加せり。是蓋し民事事件に在りては朝鮮人の權利思想日に月に向上發達し其の保護を裁判所に求むる者漸く多きを加へ、一面在留內地人の數も比年漸く增加せるに由るべく、又刑事事件に在りては一般犯罪の增加こ、警務機關の整備し犯罪の搜查愈〻周密に趣き檢擧件數の多きに上りたるに由るべし。然れごも幾日比較的多數なりし彼の強盜其の他慘忍なる犯罪は漸く年こ共に減少し、之に反して詐欺、文書僞造等

▲知能的犯罪は一般に遞加の傾向あるは已むを得ざる數なるべし而して大正七年一月より十月に至る間の新受件數は民事訴訟二九、一六〇件、刑事訴訟二五、四一四件、檢事事件五四、一四一件、其の他の雜事件五〇、二三四件、七八九、一一七件にして、之を前年の同期間に比すれば實に二三、二八二件の增加なりこす。大正七年中朝鮮不動產登記令を施行せし地域は六十二郡にして、大正三年五月初めて同令を施行し爾來所定の方針に基づき數次に之を施行せしが玆に始めて朝鮮全土十二府二百十八郡二島に普く之が施行を了するに至れり而して該事務は取扱ふもの十二府六十郡一島、登記

▲地方法院又は同支廳に於て取扱ひ及び公證事務を取扱ふ爲に特設せる地方法院出張所に於て取扱ふもの百五十八郡一島にして、出張所の現在數は百五十九箇所なり。多年の懸案たりし共通法は大正七年四月公布せられ第三條の規定を除く外同六月一日より之が施行を見るに至り、是が爲に從來本國こ新領土及び租借地この間に存在したる法律的關係の阻隔一掃せられ、民事及び刑事に關する法令の効力相互聯絡を見るに至り將來

▲內地こ朝鮮この諸般關係　密接こなり一般の蒙る利便こ法益こは蓋し甚大なるに至れり。而して本府に於ても本法の施行に由り內地臺灣、關東州こ法規の聯絡を見るに至りたる結果從來民事令第一條に引用せる民法其の他の法律中官報に揭載して爲すべき公告は本府の官報にのみ揭載する定めなりしが公示催告手續及び失踪に關する事項に付ては他の地域にも公告するの必要あるを以て內地官報及び本府官報に之を揭載して爲すここし、又從來內地、臺灣、關東州に於て設立せる會社に付ては

▲外國會社に關する規定　を準用し外國會社こ共に朝鮮內外會社こして取扱ひ來りしが各地域間相互に會社の成立、合併、移轉を認め內地、臺灣、關東州の會社は朝鮮內會社こ同樣の取扱ひを爲すここ爲りたるを以て登記取扱規則に一部の改正を加へ以て之に適應する取扱を爲すここせり。

○小額紙幣不足

歲暮年始の切迫せしため鮮人間に於ける各種取引の繁忙を呈し來れるこ米豆の荷動き頻繁なる結果小額紙幣の地方に於ける缺乏は依然こして甚だしく朝鮮銀行本店國庫課にては各支店金融組合等の送附要求額少からざるに困じつゝあるが一方本金庫に對する請求は頻りに之を行ひつゝあれご內地に於ても補助貨代用小額紙幣の不足は甚だしき模樣にて容易に潤鮮回送をなし來らず舊臘二十萬圓の到著以來全くその跡を絕ちたるも漸く二十五日仁川入港の便船にて三萬圓だけの回送を見直ちに分送するありたるが由なるも尙ほ地方は不足を訴へつゝあり又硬貨は目下の所入鮮の見込なしこの事より

◎辭令（二十二日附）

任總督府判事（七等）　總督府法官試補　長谷川宏

任總督府判事（七等）　同　早田福藏

任總督府判事（七等）　同　內田修一

◎講習所卒業式 女子

蠶業講習所第九回卒業證書授與式は二十五日午後二時より水原女子蠶業講習所に於て擧行宮原所長の式辭青木農商工部長官の式辭代讀ありたるが卒業生二十名なりこ

○鮮滿電話聯絡

總督府遞信局に望む

加藤通信管理局長談

多年奉天安東縣人士の熱望せる奉天安東縣間に於ける電話線の新設は來年度に實行するこことして愈本議會に豫算を提出せり其金額は凡そ十五萬なるが此新設により大に通話上の利便を得らるべし然も當局の主要なる目的は別に存す其目的こは滿鮮の產業の發達經濟の統一を計る爲滿鮮間に電話大連絡の幹線を作るを緊要こ認め第一著手こして奉天安東縣間に本線を新設するに在り即ち京城、仁川、平壤等の各要地安東縣、奉天、長春、營口、大連等こ自由に通話せしめ距離を近からしめんこ欲するものにして滿蒙開發大陸經營の一端に外ならず故に竣工の上は世人も此趣意を以て十分に利用せられんここを望む從來關東都督府は社會の血行系統たり神經中樞たるべき通信機關の施設に付いて幹線大綱を先にして地方的の

▲支線細目　を後にすべく大連絡線の爲には一時地方の不便をも忍ばざるべからずこの方針を取れり此電話線も亦同一の方針に出たるものなり就ては朝鮮總督府に於ても滿鮮の產業發達、經濟統一の爲に大局より打算して都督府の目的を貫徹し速かに京城新義州間の電線を設備せられんここを切望して已まざるなり

◎染織工業こ京仁（下）

關稅改正に伴ふ趨向

今此等に付きて少しく吟味するに支那より輸入せらるゝ織物類の中麻布及び絹并絹に付いて特に注意すべき點あり兩者は大正六年度に於て仁川のみに合計五百七十八萬三千九百八十七圓方碼二百四十三萬三千二百三十六圓を輸入し之を全鮮に見る時は七百六萬七千三十方碼二百八十四萬三千二百十三圓の巨額に達せり然るに內地及朝鮮の現行關稅が此等に幾何の課徵を爲しつゝありやを檢するに朝鮮に於ては共に從價七分五厘を賦課するに反し內地に於ては絹織物には

▲從價百斤に付　九十圓乃至五百廿圓を課し麻織物には稅又は從價百斤に付二圓乃至五十圓を課しつゝあり前者に重く後者に輕きは內地產業事情の然らしむる所にして既して織物に對する輸入稅は從價三割乃至五割を普通こす若し朝鮮の改正關稅率が現行內地關稅率に統一せらるゝこせば從來仁川より輸入せられつゝありし絹布の如き甚大なる打擊を受けて激減すべく麻布は內地關稅に於ては重率を課せられずこ雖も朝鮮の產業保護上內地の織物に對する平均率に從ひ四割を課徵するに至るも計られず假令保護稅を課する能はずこするも

▲現行率の三倍　程度に標準せらる可は看易き道理にして麻布も亦能からず打擊を被るは疑ひなき所なりこす果して然りこせば仁川の輸入貿易は玆に一頓挫を來すものこ覺悟せざるべからず時に朝鮮內に於て此種の工業が勃興の氣運に向ふは明かにして仁川及京城は此氣運を利用して輸入貿易に失ふ所を新興の工業を以て補はんこするの覺悟を要す關稅改正こ染織工業の關聯する所夫斯の如し京仁の當業者は常に研究を怠らず機を捕ふるに敏捷ならざる可らず

◎技術員講習會 蠶業

技術員講習會は二十五日より三日迄六日間水原蠶業試驗場に於て開會二十五日午前九時より開會式を擧行したるが總督府よりは青木殖產局長出席講演を爲したり聽講員は道郡蠶業技術員道原蠶種製造所技術員等約四十名なりこ

◎全北の大水利

蒙利地一萬餘町步　工費二百五十萬圓

全羅北道に於ける萬頃江東津江兩江の中間に位置する平野約六千五百町步は水利の便を缺き每年旱水害を受くるを例こして同地方民は久しく水利事業の必要を唱へつゝあるが昨年來關係者の議大に進み不二興業專務藤井寬太郎氏は昨年來數回現地域を踏査し技術者の調査設計こ相俟ち最近略計畫成りたるに付近く總督府に出願すべきが許可の上は本年の夏期より工事を起すべし又其の內容の概略を聞くに蒙利地は既墾地六千五百町步並に干潟地三千五百町步合計約一萬町步こすべく貯水は東津江の下流に百數十尺の堰止めを設けて十億立方呎以上に達せしめ一萬町步に對し三十餘日間灌漑し得る水量を貯ふべし又工費は約二百五十萬圓の豫定にて多分東拓金融部に之れを求むる事こなるべしこ

◎東拓移民渡來

東洋拓殖會社の第九回承認移民は愈來る二月一日より續々渡航する事こなりしを以て會社にては二月一日までに植民課員を釜山に派出し移民に對する各種の案內事務を執らしむべしこ

◎朝鮮繰綿計畫

朝鮮紡織株式會社の姉妹會社たるべき朝鮮繰綿株式會社は資本金百萬圓三井系の資本に設立せらるるとこなり目下總督府に會社令により許可の申請中なるが該社は本社を京城に設け工場を全羅南道の實棉集散地に置くべしこ

◎米領事挨拶

嚢に來任したる京城駐在米國總領事レオ、アレン、ベッグホーツ氏は職務執行に對し一月十六日認可狀を發せられたるを以て同總領事は愈公式に認められ此の程各方面に對し挨拶を爲したり

◎仁川期米波瀾

鮮米禁輸の噂

二十五日本場の仁川期米先限は三十六圓十錢に寄附きしも朝鮮米輸移出制限を噂し軟派にて賣叩きし爲一節に於て八十一錢こ二十九丁方の崩落を示せしも押し目付硬派の買物續出の結果四節に於て盛返し高値三十六圓十六錢こ安値に比し三十五丁方の高騰を告げ大波瀾の裡に結局三十六圓七錢こ散會したるが鮮米禁出は恐らく內地米價の調節上より見るも蟹報ならんが仁川期米は高張り居れるため目先き崩落せずこやの說あり

○遞信局雇員試驗期

二十五日執行の筈なりしも都合上二十八日に延期し二十七日までの申込みを受くる由

人事

▲矢野義二郎氏（遞信局監理課長）遞信省拓殖局及法制局こ事務打合の爲二十四日附にて東京へ出張を命ぜらる

▲朴容九氏（總督府事務官）稅務事務調査の爲二十四日附慶北慶南管內へ出張を命ぜらる

▲十時梅次郎氏（總督府農務課技師）蠶業講習會講師こして二十四日附にて水原へ出張を命ぜらる

▲大木盛三郎氏（總督府水產課技師）水產物狀況調査の爲二十四日附にて支那へ出張を命ぜらる

▲野口耕一氏（土木局元山出張所長）道路、港に關する打合の爲二十四日附にて咸興へ出張を命ぜらる

▲池邊勇生氏（土木局元山出張所技師）元山築港陸上設備に關する事項打合の爲橫濱名古屋神戶大阪及京城へ出張を命ぜらる

▲西川庄五郎氏（仁川稅關鑑定官）對支貿易調査の爲二十四日附にて支那へ出張を命ぜらる

▲佐倉昇氏（大邱聯隊附中佐）二十五日朝入城浦尾へ

▲黑江大尉（大邱聯隊附）同上

▲宮武正輔氏（常盤生命滿鮮支部長）同上

▲吉植庄三氏（東拓平壤出張所長）廿五日朝退城

▲芝生大佐　入京中なりし參謀本部員芝生大佐は二十五日午前九時五十分南大門驛の列車に搭じ長春に向へり

八面鋒

◆柳田上院翰長の議會師に曰く、大臣の演說は何れも餘り上出來こは云はれざるも、答辯の巧妙なるには擧々感心せりこ。首相の巧智、農相の可嘆、藏相の放膽、外相の勉強、成る程面白し。

◆憲政會が外交質問に對し、望月小太郎君を登壇せしめたるは、何だか物足らぬ心地せざるに非ず。武富時敏君病むも、尙ほ尾崎學堂君の議席にあるに非ずや、識者僞めに低調の感ありしこは最も千萬也。

◆望月君が、講和問題に對して、何等の定見なければ、態々老齡七十の西園寺侯を起し、萬里の波濤を超えて、月雪花の旅行を爲さしむる必要あるやこ叫びしは、大向ふを唸らすには適然の句ならんも未だ老練の質問こ云ふを得ず。

◆原首相の之れが答辯も亦眞面目に非ず、憲政會側よりの彌次を受けて喧嘩腰こなりたる處は、首相こしての貫目輕く、其の橫著を發揮せし處かも知らねご、未だ依然たる野武士の觀あり。

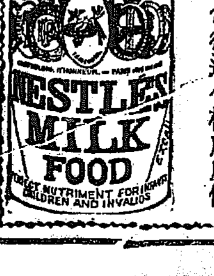
◆初舞臺の野田遞相は如何、政友會の正木照藏君より、七箇條に亘りて質問に及ぶや、其答辯に曰く、正木君ナ、航路補助をマ、ット餘ヤレッチュウのですが、さうむだに金やるチウもんぢやない、次官が新聞に云々こ云はれたが夫はごうシチも政府はイクサが濟んで、二箇年間はやる方針ぢや。相變らず、愛嬌の裡に要領を得たるは、流石大堤式を發揮したり。

▲大塚木堂君曰く、何うも近頃は演說を引延ばすここが流行で困る丁度新聞に行數を延ばす格なり、昔僕等が新聞記者の際は一行幾何にて原稿を買しが、今の演說は幾何行數を引延ばしても金にはならざるべしこ。木堂一流の皮肉なれご、之れ實相なれば如何せんや。

國旗 玩具
三五 際物
祝賀用提灯
日用品雜貨
卸商 西芳商店
大阪南區大寶寺町東ノ町貳壹
（御照會ハ郵券封入ノ事）

▼汽鑵機器賣却廣告▲
中古ロコモチーブボイラ（移動式）馬力30汽壓10　參臺
中古水管式ボイラ パイプ13'×2"70汽壓10　貳臺
新品エンジン 横置式（シリンダ貳ケ）馬力15—18　壹臺
モーター（電力）馬力7.5　貳臺
起重機 五噸 六噸　貳臺
其他旋盤、鉋臺、穿孔臺、鑽穿臺、洗濯機械（專賣特許）消火ポンプ、電氣ポンプ、輕便車輪等數十種類
右近日中到著に付御入用の向きは至急御照會被下度候　敬白
哈爾賓埠頭區　東亞貿易公司支店

茲に郵便切手金十錢也封入候間ネッスルミルクフード見本包御送付相成度候
年月日　住所　氏名
橫濱郵便局私書函第三〇四號
ネッスル及アングロスイス煉乳會社行



ネッスルミルクフード
小兒、虛弱者及老衰者用強壯營養物肺病患者の福音‼醫師諸氏の御推薦を蒙れり
左記申込書御切拔の上御姓名御記入金拾錢郵券（送料包裝費こして）御封入被成下候はゞ見本包壹個御送附申上可く候

齒科醫院開業廣告
私儀今般滿鐵京城管理局鐵道醫及龍山鐵道病院齒科部長ヲ辭シ左記ニ開業汎ク齒科診療ニ從事致候
齒科醫士 利根川淸治郞
京城本町一丁目（江戶川橫入岡本齒科醫院跡）
利根川齒科醫院

▲防寒帽子▼
最新型本日入荷
甲、防寒中折帽子（上六圓八十錢 下四圓六十錢）
乙、防寒帽子（金三圓九十錢）
丙、目出防寒帽子（自金七十錢 至金二圓卅錢）
送料鮮內十二錢鮮外卅錢
御注意（御注文ハ必ズ名稱、大サ、色、指示被下度候 但シ甲乙ハ毛ノ黑ノミニ御座候）
京城太平通り
合資會社京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

產科 婦人科
二宮醫院
京城壽町 電話一二〇一番
醫學士 二宮亮吉

大正七年七月一日改正現行

國葬彙報

▲貴衆兩院は休會　御葬儀當日の東京市中

李太王殿下國葬當日は一日廢朝仰出さる可く貴、衆兩院に於ても當日休會し東京市中は毎戸弔旗を揭げ諸事喧騷に渉らざる樣謹愼し尙遙拜式を行はれ神社佛閣の祈禱法要等ある可し（東京特電）

▲伊藤公　儀式總長として來鮮か

宮內省式部次長公爵伊藤博邦氏は李太王殿下國葬の儀式總長として山縣政務總監並に李王家祭祀官と打合はす可き必要あり近く渡鮮す可し（東京特電）

▲貴族院打合

貴族院にては廿四日午後五時各派交渉會を開き李太王殿下國葬弔詞豫算及び議事順序に就き打合せを爲し午後五時半散會せり（東京特電）

□豫算に　現はれた國葬費

政府は二十四日午後三時衆議院に對し七年度歳入歳出總豫算追加案を左の如く提出せり大正七年度歳入歳出總豫算追加案として計上する金額は歳入歳出各十萬圓なり其追加を要する事項左の如し（東京特電）

歳入

一、歳出豫算追加の財源に當るが爲め前年度剩餘金十萬圓を臨時部第十二款に計上せり

歳出

一、李太王殿下薨去に就き國葬費を要し十萬圓を大藏省所管臨時部第十八款に計上せり

▲國葬費上程の形式

廿五日の衆議院本會議には李太王殿下國葬儀追加豫算の上程なきを以て右は緊急動議にて上程する事となる可し（東京特電）

▼梨本宮　喪中御見舞

廿四日梨本宮守正王同妃兩殿下より喪中御見舞として左の通り御贈進相成りたり

李王同妃兩殿下へ　一御菓子　一折　一御料理　一折
王世子殿下へ　一御菓子　一折
李堈公殿下へ　一御菓子　一折
李鍝公殿下へ　一御菓子　一折

右に付各殿下よりは直ちに御禮の御親電を發せられたり

▲御式奠日附

二十六日午後大斂奠▲同大斂奠（宗戚及び李王職高等官哭班入參）▲同日午後七時各下梓宮▲同成殯▲同成殯奠（朝夕奠及び上食每日）▲二十七日午後一時成服、同成服奠（並參禮每日）

▲忠北長官弔電

李太王殿下薨去に付張忠淸北道長官は直ちに李王職長官を經て王世子殿下李堈公殿下李鍝公殿下に夫々弔電を發したり

▼御墓所內定　淸涼里の王妃の御墓

故李太王殿下の御墓所は京畿道高陽郡崇仁面淸涼里洪陵に御內定ありたる旨發表されり

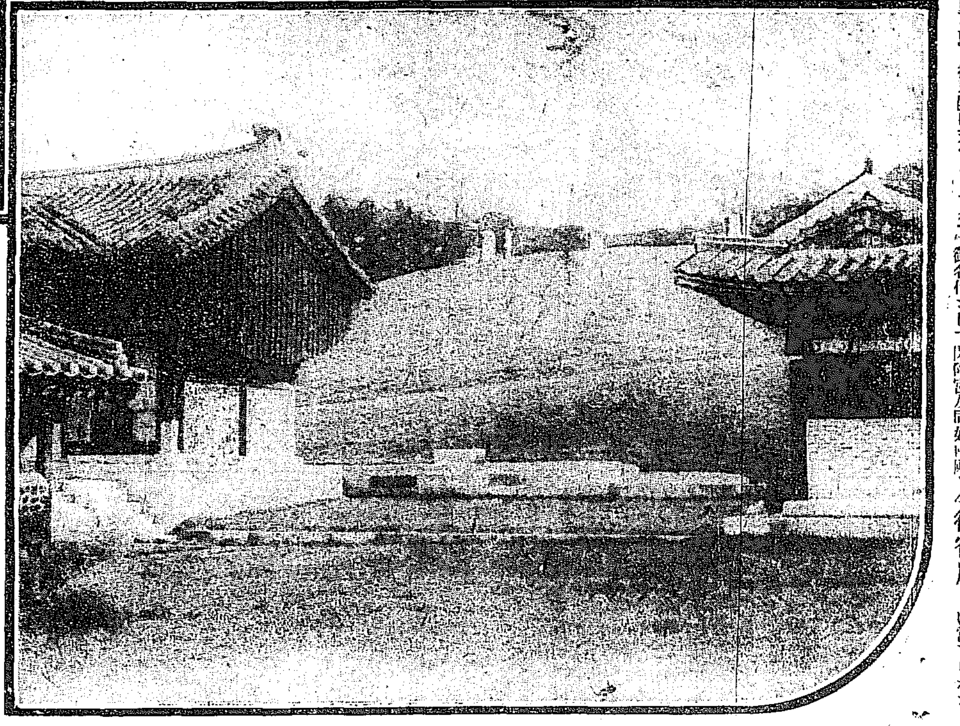
◇洪陵を擇ばれたは　喪主殿下の御思召　二重の手數を省かるゝ爲　國分李王職次官談

右に就き國分李王職次官は語る『李太王殿下には御生前京城を距る約五里の地京畿道楊州郡漢金面金谷里に殿下自ら御壽陵を御選定遊ばされて居りましたが昨日喪主殿下を始め各殿下御近親

▽御相談の　結果京畿道高陽郡崇仁面淸涼里洪陵に御變更に相成ることに內定致しました。此の墓陵は俗に王妃の御墓と呼ばれて居る故閔妃殿下の御墓所ですが御變更の理由としては承るところに依れば從來王室にては妃殿下と倶に合葬

▽又は列葬　し奉る御慣例あり若し太王殿下御選定の金谷里を以て御壽陵に充つるとすれば一年以內に淸涼里なる王妃殿下の御墓陵を金谷里の太王殿下の御墓陵に移葬せねばならず、さうなれば二重の手數を要し且つ

▽方角から　云つても距離の長短から云つても又は葬送の方から云つても萬事淸涼里洪陵の方が好都合だから斯くは御內定になつたのだと承つて居ります



李太王殿下御墓所（上）洪陵の入口（下）洪〔陵〕

李太王國葬に際し儀式總長たるべき　伊藤博邦公

◎伏見宮家へ　御弔電

淺野侯爵令孫長武氏夫人本月十六日逝去ありたるに付李王同妃兩殿下は廿二日伏見宮貞愛親王同妃兩殿下及び御父宮博恭王同妃兩殿下に宛て御鄭重なる御親電を發せられたるところ廿三日伏見宮家より御禮の御親電を寄せられたり

◎御名代宮の御宿所は……　御馴染の龍山總督官邸か　國葬儀と京城府　金谷府尹談

畏くも　聖上陛下には李太王殿下の國葬を仰せ出され一般內鮮民は聖慮の有難さに感泣せざる者はない然し殿下の國葬が如何なる方法に依り執行さるゝか目下の處恐らく何人とも臆想だに及ばない處であるが國葬を執行さるゝ

△御膝元　たる京城府では國葬に關して直接間接干與する處が多い事と思ふ洩れ聞く處に據れば御名代として閑院宮及同妃兩殿下を始め奉り其他高位高官多數が國葬列席の爲渡鮮相成る趣にて是れが奉迎送より御旅行の割當等一々府の干與する處となるべく閑院宮殿下は李王家とは御親交あり又京城としても御馴染の深いお方にて殿下の御列席は李王家に於ても此上もなく滿足に思召さるゝ事と思ふ閑院宮殿下の御宿所は此前御渡鮮の際

△御宿所　に當てられたる關係もあり矢張り龍山總督官邸に定まるべく其他高位高官の旅館に就ては比較的旅館の完備せる京城にては差したる心配もなかるべく而し國葬執行により府內の大淸潔施行をなし其他不敬に亘らざる設備をなすは當然にて定めて繁忙を極むる事なるべし又地方民は前例なき國葬の大儀を拜觀せんものとて蝟集する者多かるべく

△葬場こ　定られたる淸涼里間は人の海と化する事なるべし

◎岡田畫伯の見た　臺灣　‖總督府の壁畫を描く‖

◇風致は濃厚だ

かねて臺灣總督府の囑託を受けて新築中なりし美術學校教授岡田三郎助氏は二十日午後歸來下關に上陸山陽ホテルに投宿せるが廿一日記者に語る「今度臺灣總督府の囑託を受けて新府廳の壁畫を描くのであるが該

壁畫　は橫五尺縱九尺の二枚にて一枚は未だ決定せざるも一枚は甘一日淸戰役當時北白川宮殿下の御奮戰の遺跡を描くので北隆より約八里許りの陝西の景風なるが同所へ道路甚だ惡かり爲め往復二日間を要して其風景を見たが未だ決定せざる一枚は明治七年臺灣征伐の際の

戰跡　なる赤門壁畫なるが此の壁畫に就ては目下ズット南部の打狗說あり何れ官吏を上京せしめたる上決定する事となるだらう此壁畫は總て四月中に完成の豫定である總督府では取附を終る迄居て貰ひたい

希望　であるが何分そう云ふ事には行かぬと考へて居る臺灣に對する印象としては竹藪であつた內地では竹藪は淋しい感じがするが臺灣の竹藪は支那畫にあるが如く竹の生ひ方が內地のと違ひ竹根が段々せり上つて居て最も風致がある又一般を通じて樹木の色が濃厚であるそして影が

眞黑　い明るみが無いそれから打狗に於て題材を得たそれは海岸で火山系の岩が屹立して居た事である北部の岩は黑いが南部の岩は白つぽく却々風致がある今臺灣北部は雨期に際して強い夕立があり南部の方は晴天で誠に心地が好い（下關）

◎火藥庫爆發　三名即死す

福岡縣企救郡松ヶ江村猪〔熊〕の石灰山破壞用ダイナマイトを入れある火藥庫二十二日午前八時一大音響と共に爆發し人夫三名即死を遂げ三名負傷せり原因は取調べ中なるが寒冷のため使用すべきダイナマイトを溫め居る中爆發せるならんと（小倉）

◎女學生の卒業期に……　我國婦人の美德を　‖試驗の成績如何よりも大切な‖　良妻の資格なる沈着を養へ

チラホラと梅の便りの匂ひそめた此頃、卒業試驗の難關を目の前に控へた女學生たちは、何うか良い成績を得たいと今から

△一生懸命　晝夜の準備に取りかゝつてゐます、それに就いて世故に長けた某女史は語るやう『女學生の方は男子のやうに卒業成績の如何によつて就職口の高低に關係するやうな事はありませんから、徹夜したりするやうな健康を痛めたりしてまで勉強せずに、卒業試驗といふ大事を前に控へても、少しも騷がないと云ふやうな沈着な態度を養ふ工夫をしてほしいと思ひます、さういふ態度が昔からの

△日本婦人　の理想とした所ですが、今の女學生には中々それが出來ません、卒業試驗の成績が良いといふよりも、さういふ立派な沈着のある、女學生の方が遙に偉いと思ひます、學校は社會に出る階級の第一歩であつて決して卒業したからと云つて一人前になつたのでありません、まだ嘴の黃いろい雛鳥が巢からやつこ飛び出したやうなものです、女子の

△專門學校　なる少數ながら有ます、都會にあつてはさうでもありませんが田舍なんかへ行きますと、女學校でも卒業すると當人は勿論、兩親及びその周圍のものたちも、もう押しも押されもせぬ立派な一人前になつたやうな心持ちになり、恐々と卒業免狀を振りまはし、社會へ出れば直ぐにも二十三十のお金は取れる積りでゐます

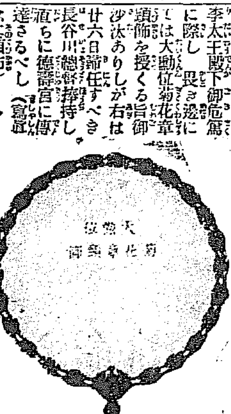
△私共ん間　に取つて永久の學校、云はば女學校卒業位はホンの下染、これから紺を幾度も染かへ染かへ、天晴れ一個の人格をつくる迄にはまだ〳〵幾多の星霜が要ります、女學校を卒業したからと云つて少しも誇るには足らない、只是非を判斷する眼を與へられただけで之から大いにその眼を明かにして社會へ一歩々々進んで行かなければなりません、女學校を卒へ尙進んで專門的の學問を受ける人は外として、家庭にあつてお嫁に行く迄種々修養をするその間の二三年といふものは實に婦人に取つての

△黃金時代　花ならば正に開一刻千金の價貴き時代であります、社會と云ふ荒波にも當らず胸に美しい夢を描いて高い理想に憧れてゐるこの時代こそ、貴い精神的基礎を確りと植ゑつける事も出來ますし、又世の中に出る幾多の準備智識を養ふ事も出來るのであります、然らばこの貴い黃金時代を當人は

△一向に氣　がつかない。それ許りでなくその兩親も又氣づかないものが多い。そして、たゞ飾り物に花を飾れと許りにて、精神的に於て空虛な事に心つかず衣裳や髮飾りの美々しくさせて、頓な人として取り扱はず一個の飾り物として見てゐるのであります、かと云ふやうな迂濶な事で居て何うして立派な

△國民を生　む賢母となり夫を眞に內助する良妻となり得る事が出來ませう、女學校卒業の娘を持つた親だちは、此時期を一刻も忽にせず充分なる注意と導きとによつて、立派な女性たり得るやうに努力し、娘自身も又眞に氣を引きしめて社會を教科書として進んで行くやうに心掛けられ度いものです

李太王殿下御危篤に際し畏き邊より特に大勳位菊花章頸飾を授くる旨御沙汰ありしが右は廿六日歸任すべき長谷川總督捧持し直ちに德壽宮に傳達さるべし（寫眞は其頸飾）



大勳位菊花章頸飾

京城の雪（廿五日）

降り初めたのは午前一時三十五分で歇んだのは午前九時十三分積雪量二ミリ九といふから九分六厘ほど積つた譯である此雪は仁川には降らなかつたが全州、江陵、元山、城津等は二十五日朝何れも雪を報じてゐる

◎妹を泣かす

娼妓『長吉』の兄長崎市生れ當時住所不定無職中里逸郎（四〇）は昨年十一月十日頃より平壤八千代町田村旅館に止宿し自己の實妹へつが〔同〕町遊廓貸座敷長崎樓に長吉と稱し娼妓を稼ぎ居るを散替せしめ金策を講ぜんとしたるを長吉の馴染客にて散替中を

◎釜山紳士賭博　愈々起訴さる

釜山紳士商賭博として報道せし一團は昨年來各所に於て賭博をなせしが今春に至り久住孝の一千六百圓を橫領消費事件が導火線となり釜山警察署にて精査の上大檢擧をなし以來釜山地方法院檢事局の係にて取調べ中なりしが廿三日午後愈々起訴せられ釜山地方法院の公判に附する事となりたり其氏名左の如し

▲釜山南濱町一丁目店員石谷若松方久住孝（三二）▲同辨天町酒井吉郎（二七）▲同本町四丁目雜貨商山本太郎（五七）▲同南濱町二丁目同岡崎源次郎（三六）▲同同布谷嘉七（三二）▲同本町五丁目土木建築請負木下元次郎（四四）▲同幸町一丁目金物商和田九錠（三七）▲同富平町一丁目大池回漕部中村勘三郎（三二）▲同南濱町二丁目海產商大野市郎（三二）▲同大廳町二丁目藥種商中川正平（二七）▲同本町四丁目木炭商倭谷卯吉（四七）▲同南濱町二丁目金物商山本寅吉（三九）▲同福田町會社員三井達越田市太郎（三二）▲同本町一丁目貿易商同小宮惠三（二四）▲同琴平町會社員同德山某▲金海郡野村某（三二）▲同山下駄商野島營殺（五一）▲釜山富平町二丁目同井留田清助（三二）▲宿元たる大黑町亭の女將大黑とく（五〇）

右は大黑女將を始め野村、久住、酒井、木下、岩山、布谷、和田、倭谷は同數の重なる事數回に及び常習者と認められ釜山監獄に拘禁され居れり檢事の起訴狀は頗る峻嚴なるものなり（釜山）

◎大平通の小火

廿五日午前一時五十分太平通の百一番地李松柏方より失火し危や大事に及ばんとせしも家人必死となりて揉み消しに努めたる結果壁三尺四方を燒き拔きたるのみにて鎮火したり報に接して南大門消防隊馳せ付けしもホースを用ふるに至らず損害五十圓原因は火鉢から

◎共勵會講演會

京城基督教會共勵會にては廿七日より向ふ三日間每夜七時より同會に於て渡瀨常吉氏の大講演會を開會すべく演題は▲廿七日基督の生涯と其使命▲基督の神觀▲廿八日十字架上の基督、神の國の理想

◎取消

昨日夕刊所載『國葬公布』の東京電報は本社東京支局發電報に非ずして誤電なりし事を發見したるを以て該記事を取消す

大利益ある緬羊　牛馬一頭飼ふ飼料で年に六百圓以上の利益

大日本畜產研究會主幹　高田一峰

▼緬羊とは如何　緬羊は羊の一種類で、主として其の毛を採りて毛織物を織るべく飼養するものである。頗る溫順な、女子供にも手飼の出來る愛らしい小獸である。從來餘り我日本には多く見受けぬものであつたが、今度農商務省と陸軍省とが協力して共同飼育を大に奬勵してゐるので各府縣にボツ〳〵飼育者が見受けられる樣になつた。

▼ナゼ奬勵するか　と云ふに若し今度戰爭でも出來た時に羊毛の輸入が止まつた場合日本に緬羊を飼つてなかつたら軍人の服が出來ぬので甚だ困る事になるから陸軍省の附屬工場では今から僅か一頭分の毛でも買入れたり、農商務省では種緬羊を無料で貸下げたり一頭に付金三圓の奬勵金を下付したりして大に共同飼育を奬勵してゐるのである

▼飼養の現況　農商務省にて北海道、茨城千葉縣で大飼育をしてゐる外に松方侯爵は栃木縣千本松牧場で數千頭の緬羊を飼つてゐるし、現東京市長田尻子爵なども市中の空地で飼へるからと云つて大に盡力してゐるのである。其他百頭內外の飼養者は全國各地に散在して皆非常の好成績を擧げてゐる

▼飼養の利益　それで牛馬一頭飼ふ丈けの飼料あれば緬羊は優に八頭まで養はれ其の毛の販賣高と仔羊の賣却代とを合せると八頭で年に六百圓以上千圓近くの收益を擧げる事が出來、且肥料も出來る。

▼緬羊の特長　二三坪の空地でも飼へる事と、小供にも手飼ひが出來る事と、そして政府の保護を受け羊毛の販賣に毫も心配なき事と、目下仔羊の値段が高く賣れるので前記の如く非常の大利益が得られる事である

▼飼養希望の者は　東京府下の水道橋側大日本畜產研究會へ入會すると、詳細に飼育法、飼ひ方の講義錄の配布を受け、且つ緬羊の買入其他種々の便宜を得られる。同會の會則はハガキにて申込次第送呈する

▼富國強兵の本　日本が目下外國から羊毛を買入れてゐる金高は每年五千三百萬圓の多きに達する。若し日本で羊を飼つてこれだけの輸入が防げたら富國強兵の基は譯なしに築き上げられるのである。今年は羊の年であるから、私は一戶少くも數頭づゝ飼育して國家の爲め此有利な羊を飼ふ事を切に希望する。

農家副業　藥草栽培　一段歩から千圓もあがる　◎庭の片隅からでも　◎大金が儲かる

目下日本政府が奬勵金を下附して盛んに奬勵してゐる各種藥草の栽培は地方郡村の福音である。藥草栽培は骨が折れずに樂みが多く然も多大の收入あり中には畑一反歩から一年に千圓近くの收益を上げてゐるものもあるから一坪の土地でも利用すればよき副業內職となる。殊に人に先んじて之を栽培し種苗を取つて賣れば大金が儲かる。又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して販賣すれば無資本で一ヶ月五十圓內外の利益を得ることも出來る。其他栽培法採取法販賣法等は東京神田三崎町二ノ一〇（藥務大衆新築落成神保町より移轉す）日本藥草研究會發行の講義錄を見るが一番よい同會の會員には質問顧問の特典もある會則及講義錄見本は同會宛ハガキにて申込次第發送す目下各種藥草の播種季は付け御申込は大至急を要す

▲債券▼　關東都督府認可　公債債券月賦販賣

大連市羽前町五號地　大連債券株式會社　電話長一五二四番　振替大連二三〇〇番

公債債券現物賣買　營業案內無代送呈

▲債券▼

緊急廣告
大正八年當行發行倉荷證券第五拾七號
記載事項
一、釜山行
一、四斗入玄米　數參百八拾九叭
一、明治六年拾貳月登錄人
一、大正八年當行發行
委託者
右紛失ニ付無効トス
大正八年一月
沙里院　倉庫
阿波商會

ゲンノショウコエキス
本劑は大病院の實驗によるもの……胃腸病諸症
京城若草町（新道路）　本舖東洋藥房　電話三一九番

▲▼特賣廣告▲
紬縮絹　一尺二付金五十五錢
但し在品僅少
右御下命顧上候要地方送料
京城大平通電話構內十三番
京城日報代理部　振替口座京城三〇〇番

◎連絡船上陸客　二十四日午前入港景岐丸　一二客　一、三二三等乘客……竹村利三郎、岩淵勉市、五……

天氣　曇後晴

京城今朝氣溫……

◎酒呑み女を禁〔酒〕國へ　[illegible]……ホームへ送られましたが△同所でも　持て餘し近く此の女を布哇へ輸送するとの形……供までであつたが一昨年來口が好で宅に居られず家を飛出て藝妓となり△生家から　見放せられた……ませんところが本年の四月から布哇は禁酒國となるといふので△彼の地へ　送つたら必ず……

◎〔學〕校の新年大會　……普通學校では廿六日午後一時から新年大會を開催する君が代……のるが當日は生徒の父兄も多數參列すると云ふ事である

社寺と教會　廿六日　『人生は花の如し』……前九時日曜學校……人生……月我氏午後七時傳道說教『要心の……』

◎淨土宗

物があつて目出たく閉會する筈で

◆メソヂスト教會（旭町二丁目）午前十時半「信仰の極致」中村牧師 午後七時より幼年者の集會ある筈

釜山から（二）

左様なら諸君

汚物汲取車が何の皮肉やら拙者には少しも分らぬ、キの字は痛快な笑ひを見せて、君、彼の車の前の建物は學校である、而して彼の車み給へ、人夫は一生懸命になつて車の蓋を洗つて居るではないか、汚物車だ、泥を洗つたつて臭いものは臭い、蓋をして洗つても内身は依然臭い、兎角世の中には此種のものが多い、彼の人夫も却々歿へたものだ。成程其う云へば皮肉にも取れぬ事はない、拙者も考へた。最ふ往う云う事は大概によせ之から大正公園へでも上らう、ミ拙者はキの字を引つ張つて龍頭山に上つた、何時來ても心持ちのよい公園だ、冬枯時ながら其れ程淋しい眺めでもない、殊に今日は冬とも思へぬ程暖かい、彼の建物は何かい、ミ、キの字に聞いた。彼れかい彼れは料理屋だ、ミキの字は夫れから其れミステッキの先で教へて呉れる。料理屋には大分大きいのが多いねミ聞くミ。比較的多い、其の中にも大分珍談のある家がある。料理屋に珍談のあるのは當然だ、敢て珍らしくもないぢやないか、ミ突つ込むミ、キの字は例のヒ、、、ミ意味あり氣な笑ひをして、珍談ミ云つても普通ミは大分違ふ、珍中の珍なるもので、大分問題を惹起する事件だ。調べて見へ、君は此の間の大阪毎日新聞を見なかつたかね。毎日に何があつた。其れ十八名云々事件よ。ア、彼の事件かい、其れが珍談か。イヤ其の事件に珍談が喰つ付いて居るミの噂だ。噂よりも事實が知りたいね。其れミ同時に君の論評も拜聽したいものだね、ミソロ〳〵水を向けたが、何時になくキの字は應ぜない、大分面倒な事件らしい、拙者は何ミかして引き出してやらうミ考へた。折りも折れ公園の石段を上つて來た一人があつた、見れば馬渡敬意を表すべき筈であるヨの字だ、其のまんまる肥太つた身體を、重た氣にステッキで支へつゝ近寄つて來た、一應挨拶が濟むミ、三人がロハ臺へ並んで腰を卸して、詰らぬ馬鹿話に時刻を過ごした。キの字は最う別人の様になつて、少しも氣焔を上げぬ、其處で拙者もキの字の珍談の説明は斷念して、三人は子供の様になつて公園で遊んだ、今夜拙者は歸らなければならぬ、其處で其の旨を二人に傳へて別れやうミした、するミヨの字が一寸夕飯

釜山土産　春の大正公園

だミ云ふ、有り難いが今度にせう最う澤山だミ宿に歸る、途中で是非ミ云ふので、一時間の約束で夕飯食ひに立ち寄つた、其處には明治十九年から女中をして居た老仲居が居た、氣が急くのでサッサミ切り上げて、宿に歸る。考へて見るミ此の旅行は頗る面白かつた、例に由つて平凡であつたが、其の平凡が唯の平凡ミは聊か平凡を異にして居た、其れはキの字やアの字が此の平凡をして、平凡化し去らなかつたからである。汽車が出るミ人に大に感謝する。拙者は兩云つて來た、左様なら諸君、大分御厄介になりました。（〇〇生）（終）

◎隱元豆の悲喜劇

間島地方は未曾有の景氣である
馬の飼料が人間の生活費以上
一戸の燃料月三十圓以上

舊冬より新年にかけて間島市場の景氣は凄い、其原因を叩けば例の隱元豆の輸出である隱元豆の景氣は總てに大なる潤澤を與へてゐる併し斷つて置くが爰に云ふ間島ミは單ミ東滿の一部なる延吉、和龍汪清の三縣を指すのである所で昨年收穫の隱元豆の産額は八萬石から十萬石の間であつて輸出せる分は先づ七萬五千石の見當である今假りに毎石平均十四圓の相場ミせば約百餘萬圓は此隱元豆のために二箇月間に間島内に散布されたこミになる之れに運賃等一石五圓五十錢を合算せば

百五六十萬圓以上

は少くミも間島に吸收した所以ミなる從つて購買力も加はるミ云ふ所から輸入貨物も滯滯なく捌け此間に處して抜き目なき商人は粗布一梱包に六十圓乃至七十圓の暴利を收めるミいふ有様であつたが一方に儲かる丈け買ふ方でも頓着なく輸入貨物は相當に動き

小さな店に百圓札

がゴロ〳〵する有様であつた朝鮮銀行出張所の晩發帳尻に見るに出入金額（十二月分）は七百餘萬圓、預金三十萬圓、貸出三十九萬圓ミあつて好景氣の一端は之れにても判る、殊に上々吉の景氣は鮮人側にあつたらしく年末の贈答品も荷を使つて片つ端から買込む豪氣ぶりを見せたものゝ、故に

歳末の金融界は

綽々たる餘裕を示し商人側の取引は平穩無事に決濟されたミある併し此隱元豆の景氣が如何に他方面に辛辣な痛棒を與へたが此一事を見逃す譯には行かぬ先づ第一に非常な影響を蒙つたのは薪炭の供給不調和の現象であつて極寒季に入りて

薪炭の欠乏と昂騰

に市民を惱かし生活に大なる不安を感ぜしめつゝある、何故かミいふに隱元豆の年景に猶られて東轄は豆の運搬に赴く關係上薪炭の搬出に事を缺くのみか其運賃も豆の運賃に準ぜらるゝから、薪炭の價は騰が上にも高く市民は現に此迫害を甘受するの止むを得ざる事になつてゐる、ソレに赤沿道は馬車絡繹たる盛況に伴れて

馬糧粟殼の排底は

其極に達し一束三錢なる粟殼が此節では漸く可し二千五錢に跳上れの飼料が人間生活費の夫以上なり之れが原因ミなつて駄馬や轎車の旅行が從來の四五倍を要する事ミなつた人夫賃も三倍の一圓五十錢ミなり總てが斯の如く變調を來したのである兎に角

隱元豆を中心に

幾多の喜悲劇が默々の間に演ぜられた殊に豆で味を占めたホク〳〵の小成金は滿潤から間島にかけて簇生し燃料の逼迫などに目も呉れぬ状態である然るに之れに反して一番哀れを留めたのは

俸給に衣食する者

であつて豆のために高價な薪炭料を負擔しつゝある狀は見るも氣の毒の至りである、ソコで一戸の薪炭費はミ云ふに一濕突に要する燃料費は少くミも一箇月十五圓二濕突を平均ミすれば

一戸三十圓負擔

ミなる、生計費の大部が此採暖料に殺がるゝミいふは一の社會問題ミしても大いに研究の價値がある（間島）

奉天より　老秀生

◇昨年來奉天も非常な勢ひを以て面目を一新して來た即ち新市街の發展ミ云ふものは實に凄じいものである茲に最も注意を要するものは邦人經營の會社銀行若しくは商店などが新市街の發展ミ共に漸次店舖を新市街に移す事即ち從來は附屬地外に構へて居たものが……である

◇假へば城内にあつた正金銀行支店ゝ透門内にあつた鮮銀支店も來年度頃までには新市街に出て來る様子である既に正隆支店は去る十二月廿三日を以て新市街に移轉して來た成程新市街に移轉したならば種々の點に於て便利な點もあるには相違ない又支那市街の方へは出張所なり派出所なりを設けてゐる若しくは設けるのであるから差して影響はない様なものではあるが確に一面には若干の不利不便はあるに相違ないミ思はれる

◇殊に此の銀行會社などは邦人ミ支那人ミの間に立て單に金融の途を拓き商取引に支障のない様にするのみが能事ではない進んで兩者の商取引に改良を要すべき點或ひは從來の商習慣を打破せなければならぬ點などがあらば宜しく改良の實を早く實現されなければならぬ重大な責任がありはしないか、是等を考へて見るミ支店の本店ミも稱すべきものが新市街の方に移轉して來るのは一寸考へ物ではあるまいかミ思はれる、こいふた處で城内ミ云ひ新市街ミ云ふも何れも奉天内の事に屬するから何も大した問題である譯ではないが

◇それに就いても思ひ出すのは日支人間の商取引の現状である、是れは是非共至急に改良せなければならぬ問題だらうミ思ふ、大連や長春其の他の地は知らないが安東や奉天は正に其れである、曰く邦人が支那商人に特産物其の他の品物を買付ける時には品物の受け渡以外即ち契約ミ共に契約物品に對する代價の授受が行はれるにも拘らず邦人が支那商人へ品物を賣渡す時には。品物の授受はあつても金錢の授受は三十日ミか或は十五日ミかの延取引である、其の上其の期限内に支那人が金錢の支拂をなしたる場合には金額ミ口數ミに應じて金利を差引いて仕切るにも拘らず期限が經過したミても決して延滯の利子は支拂はぬのである、何ミ奇妙な商取引ではないか商習慣ではないか

◇勿論奉天にも貿易商組合なるものは組織されてゐる而して支那商人に對する商取引方法は大體に於て定めてある模樣である、其の定めてあるものには決して此の樣な取引を是認してゐるない相であるが實際は帳上の通りであるから容くではないか、是れでは邦人の利益ミか權利ミか云ふものは絶對に認められず一意專心支那商人の御機嫌を伺ひ奉る樣な始末ではないか

◇此の如き商習慣は速かに打破し相互對等の商取引を開始する樣に努力しては如何なものであらう、

◇商上の如き商取引は資本の豐富な大商人は決して苦痛ミはせぬであらうけれごも小資本の商人は非常に大なる苦痛である、殊に支那商人中には甲から乙、乙から丙ミ順次に支拂を順延期してドヾのつまりは無資本で堂々ミ店舖を張つてゐるものさへある。是等が萬一甲ならば甲ミの契約期限になつても支拂ひをなさぬ場合に督促が急であつたならば更に進んで延滯利子でも支拂ふ樣にでも言はうものならば自分の事は棚に上げて盛んに甲商店は資本が少いミか品物が惡いミか散ざッぱら惡口を吐いて廻るミ云ふ有樣である、是れでは品物は取られ代金は取れぬ、惡口は云はれなければならぬミは愈々立つ瀬も坐る瀬もなくなる譯である

◇是れ等は組合其のものが協同一致して今少し有意義に活動するミ共に其の他の各機關が是れに順應して改良すべく努力したならば左程の困難事ではあるまいミ思ふ、或は餘りに是れを急いだならば他から突込まれて折角今日迄に築き上げた土臺を覆へされる恐れがあるミか何ミか云ふ議論があるかも知れないが其の途は目下の場合是して發ふる所ではあるまいミ思はれる、或は向後年月を閲する間には左樣な時期が到來せぬミも限らぬが……で時期に於ても或は日支兩者の圓滿なる取引を促進する上にも極めて有効必要利益であるミ思ふからお勸めする次第である

◎問題となれる勞働者の生活狀態研究（一）

勞銀の昂騰が勞働者の生活に

勞働者需給の大勢に關する平壤商業會議所間城調査主任談左の如し（平壤）

◆及ぼしたる影響如何◆

世界大戰の影響に依る財界の好調は大いに事業勃興の趨勢を助長し我朝鮮の産業經濟界に於ても長足の發達を來し殊に新規事業の勃興せる西鮮地方に在りては事業界の殷賑ミ共に甚だしく勞働者の需要を増加するに至れるが當平壤に於ける鮮人の戸數約一萬中五割は商業三割は勞働に從事するものミの一般の觀測に從ひ勞働者の數を一戸平均一人半當りミし約四千五ミ見積り其勞働の業態別に之れを記せば

木頭（三〇〇）江岸荷揚人夫（六四〇）搗米（三〇〇）鯖人夫（一七〇）牛車挽（二〇〇）鐵道人夫（三五〇）其他七〇〇）其他（二〇〇）

右の如き状態なるを以て平壤市内のみの需要ミしても勞働者は多大の缺乏を來し兩三年前迄は街頭に於て盛んに其の姿を見受けたる轎架車の如き近來は何れにか其姿を沒せるのみならず其の數を減じたる轎架車を仔細に觀察すれば多くは老弱者にして傭強の青年者甚だ少し斯くの如く需給の均衡を得ざる上に一般物價騰貴の趨勢に伴ひ勞銀の昂騰を來し彼等勞働者の收入は著しく增加せるを以て自然生活程度の向上を醸致し住居衣食等次第に華美に流れ來れるは鮮人向雜貨の賣行の良好並に穀價の騰貴に拘らず米の賣行滅退せる事に徴して明瞭なり、尤も一般文化の向上は當に勞働者に限らず一般に生活程度を昂むるに至れるは勿論なるが殊に勞働者階級に於て其の甚だしきを見るは全く收入の激增より來る自然の歸趨ミ言ふべし昨今結氷期に際し勞働界は閑散時代にして随つて收入激減し一般勞働者中生活の困難を來すもの多き時期なるに拘らず右の如きもの甚だ僅少なるは一面米價の關係もありミ雖も全く昨年來の好景氣に伴ふ勞働收入増加の反映ミ見るを得る也、斯の如く勞銀の昂騰は彼等の生活状態に極めて良好なる影響を及ぼしたりミ雖も其の反面に於ては奢侈淫逸の弊を助長し勤勉貯蓄の精神に於て缺く事多く殊に鮮人の因襲的風習ミして收入の多きに從ひ遊惰に流れ從來十日の勞働にして得たる收入を七日にして得るに至れば後三日は遊食するミ云ふ風に次第に勤勉心を減殺するに至り自然勞働能率の低下を見るに至れるは洵に寒心に堪へざる所にして遺憾の情勢は爲政者ミして深く注意を拂はざるべからざる所也

◎昨年中の金銀買收不振原因

◆著しき買收高の減少◆

鮮銀平壤支店に於ける地金買收額は前掲報ぜし如く昨年は前年に比し著しき激減を示し一箇年の買收高二十四萬七千六百三十四圓七十錢に過ぎず其盛時に比すれば實に二割弱に過ぎざる狀態を表し居れり今此が原因に就て鮮銀調査に係る戰亂後の地金買入狀況を聞くに金銀業は大正三年歐洲戰亂の勃發以來兩年に至るも何等打撃を蒙らざりしも漸次戰亂の永續するに伴なひ鑛業藥品火藥等の騰貴を示し經營困難を感ぜしも久原鍊所の開始により賣鑛熱盛況を呈し自家製鍊殘滓を陶汰し沈澱ミして買込み相當の利益を擧け超へて大正五年に至り藥品火藥の依然低下せざるに拘らず新區の採掘製鍊に從事せしもの多く特に大規模のものは諸材料の暴騰を見越し一二年分の藥品杯を買留め乾漬作業に從ひし結果殆んご前例なき産金量を出し從つて鮮銀支店買入量も開業以來の最大量を示せり而して翌六年に入りては諸材料の騰貴益々甚だしく加ふるに勞銀の騰貴は鑛業の經營を維持せしめざるに至り殊に當時の小規模の金鑛業者は事業を休止し鎢鑛業に轉ぜしもの多く五年に比し約六割の收入減にて大正七年を迎へたり七年に入りては諸物價の暴騰其極に達し到底金鑛經營の不可能を示し休止の鑛山益々增加し加ふるに一方物價の暴騰により却つて一般好景氣を呼び裝飾品等の贅澤品の需要盛んに行はれ内鮮共に金の需要を喚起し市價一時七圓を唱ふるに至りしも商品拂底を來し且つ銀相場の騰貴により支那に密輸出の利潤多きを覺り盛んに密輸出を企てたる北の間に支店の買入價格に變動なく市價ミの値開き大なるを以つて同支店に賣込むもの殆んご無之の狀にて昨年の如き不成績を以て終局を告げたり蓋し此れ時局の影響ミして巳むを得ざるこミなりミ雖も最近鑛業令の改正により鑛區税も免除せらるゝも這は大星の一部に過ぎず進んで鑛區稅の免除及び産金額により奬勵金を下附する等の方法を講ぜざれば到底舊態に復するこミの至難なるべしミ因に現在鮮銀支店に於ける地金買入標準價格は純金一匁四圓九十八錢純銀一匁十五錢なり（平壤）

◎炭の輸出防止

◆支那への密輸出旺盛◆

……時木炭の鮮內……支那に輸出……る、の其數……に……く……十月中に於て五千百五貫、十一月二千百七十六貫を減じ之を朝鮮全體の貿易（陸接國境貿易を含まず）より見るミきは昨年一箇年に於て貫に九萬貫に上り前年の輸出額四萬八千六百貫に對比し八割強の増進を示せる如き狀況なるが刻下木炭の最需要期に際し且支那に於ける相場及び銀高この關係等に依り今後多量の輸出を見るこミなきを保せず隨つて朝鮮内の需給調節に影響する所尠少ならずミて其筋にては輸移出の防止方法に就て研究中なりミ（平壤）

◎乞食の多い冬の北京

試に一錢投げれば

何處から來るこもなく蝟集

支那は四億の民を包容するだけに富者も多ければ貧民も少くない北京の樣な大都には貧民の乞食の一階級が現はれて救世家の涙の種ミなる、都市の美觀を汚してゐる、神社佛閣寺古刹の附近は乞食の巣合地で試みに一錢を投げれば何處から來るこもなく忽に群をなして包圍攻擊を食はされる貴物の乞食ばかりでなく良家の兒童迄も速成の乞食ミなつて憐みを乞ふ、冬季に入るミ北京近傍の百姓が冬の稼に北京に來て乞食ミなる者が多い冬の北京は憐むべき乞食の市ミ化する、北京の乞食には

家住ひと穴住ひ

家を持つて居る者ミ穴居して居るもの〻二種がある家持ちは貧民の部類で之れに門前に立たざる貧民を加へたるが下層階級である、清朝は社會政策ミして貧民救濟には窮民に粥を施こすミころ力を盡くした、苦海の子女を救濟する目的で『濟良所』ミか貧民救濟の『粥廠』などは清朝の遺業で民國になつても現存してゐる、昨今舊暦の年末が近づいて來たので乞食が増して來た近年に無い大雪の中に襤褸を著て路傍に憐みを乞うて居る

極貧者六萬五六千

熱心な警視總監と救濟方法

兌換停止で紙幣は下落し物價は騰る、貧民は益々困窮する、數日來中國銀行の紙幣が七十錢位に回復して來たので市井の奸商は雜穀の値上げを始めた吳警視總監は穀物の買溜を防ぐ爲めに役人を商務總會に派して物價調節の方法を研究してゐる、警視廳の調査に據るミ北京の人口は八十萬人である、其内に極貧者の戸數は『粥廠』の施しを受くる人間が一萬五千六百八十九戸六萬五千四百三十四人ある、『粥廠』は市街の貧民窟に設けて粥を與ふるのであるが毎日二千四五百人位聚る、定門外の茶棚庵の粥廠は三千百餘人、前門外の天橋水心亭の粥廠には平素千餘人に過ぎざるも本年は毎日二千人を超ゆるこの事である（北京）

◎穀物市場總會（釜山）

釜山穀物市場の同盟總會は二十二日午後二時より同市場の樓上に於て開會せるが大池總取締役を始め四十名の全部列席し北村書記より昨年中の營業報告をなし了りて役員の改選を行ひたるが其結果左の如し

大池忠助、五島甚吉、坂田文吉、……、上田勝哉、……、石川佃一、前田太郎……

にて總取締役大池忠助氏副取締役に五島甚吉氏再選せり

◆加藤管理局長（大連）關東都督府通信管理局長加藤順次郎氏は内地に轉地治療中の夫人及び令息病氣經過思はしからざる爲め更に轉地加療の爲め往復約二十日間を以て熊本鹿兒島地方に旅行の爲め二十六日ハルビン丸にて出發の筈

（東西南北）

◆在滿邦人十三萬餘◆ 滿洲に在住せる日本人は近來著しく増加し現在十三萬七千八百七人にして内一萬五千三百九十六人は朝鮮人外人は三百六十五人なり

◆贋札多き西伯利◆ 西伯利に流通し居る露國紙幣には僞造紙幣多く殊にケレンスキー政府時代の廿留ミ四十留に多く市場及銀行にて警戒殊に嚴重なり

◆莨また値上げ？◆ 敷島ミ朝日は内地より特種の原料を移入して製出する爲移入間に合はず品切勝なるが結局再度値上の外なかるべしミ平壤より通信あり

◆大根が一本廿五錢◆ 統營の物價の高き驚くばかり大根一本二十五錢、豆腐七錢、油揚五錢、木炭一貫二圓五十錢に薪一貫一圓五十錢ミは呆るる外なし

信藏玉六一座を觀る

一移さんの御招待で壽座に信藏玉六一座の二日目を觀る、前狂言木村長門の勘忍袋が後半ミなつて鶏坊主からである……此處では信藏の重成は損にも厚にも不足はあるが、眞面目な熱さ、ればならまい▲中幕の買盛物語は大阪の俀に稀れなすつきり、大に買はなかく大きくやつてくれたもの、此處玉六の皆藝は盛んに動いて大當りたしてゐた、働くミ云へば妹千鳥の筋之助この尊い鶏坊主以外の人形振、ドッさ來て座客樂しむ。但し……は見かけ倒しである▲切の……も、兎に角近頃おもしろい芝居であつたこの枠りば大韓卿、切ば諸會我ミあつて目出らしく、目出度、大ノめでたし（ア）

演藝案内

壽館　本町二丁目 電話一〇五〇 二十三日より開演 三升家一芳一座 入場料十八錢均一

有樂館　京城本町 活動寫眞常設館 早川演藝部直營 ユニバーサル會社特約 毎日午後六時開演 滑稽『瞬間勇士』全貳卷 人情劇『愛の支配』全三卷 大活劇『幽靈船』 奇絶『獨艇の根據地』全五卷

大正館　本町一丁目 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店 『空中魔』 『若年の猿飛佐助』 『飛行娘』 『兄と弟』全四卷

文樂座　本町五丁目 電話三三八

浪花館　京城明治町 電話二六〇

黄金館　『石川五右衛門』三卷 『森の閃光』全三卷 『新ハムレット』全五卷

壽座　大阪歌舞伎中村玉六嵐信藏一座

皮より強い 柳製專賣トランク 鞄製造販賣 御注文により如何樣にも調製可仕候 魔法瓶及中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話二五四番

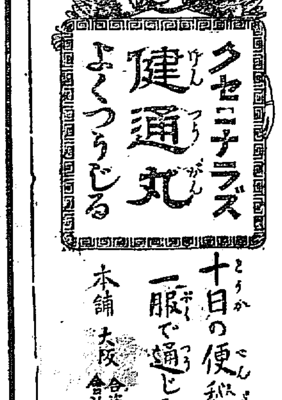
資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎 京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店 電話長五八番 振替貯金京城一二九四番 銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面朝鮮樞要の地に有

若紳士が盛に愛用する筈 日本に初めて出來た 美乳の効果!

男子がおやつしをするなんて流石近代紳士だね、などゝ云はれるミ恐縮するが併し僕は美乳を用つて見て成程これなら友人間で評判をしてゐる筈だミ思つた、第一髭剃のあミに美乳の一滴をつけるミ剃刀まけを絶對に忘れるばかりでなく目立たぬ白さに生地から男子の皮膚を美しくする事不思議な位だもの、だから僕は斯うして外出する前にチョット一滴必ず附ける習慣をつけてゐるんだよ、アゝ宜い氣持だ、僕の家庭では妹も妻も皆美乳の愛用者だ、それに感化された僕は幸福者だ。

本舗 大學目薬本店 矢野芳香園

内科 眼科 小兒科 本田醫院 京城黄金町三丁目赤門通（電車停留所前）院長 本田建義 附屬京城肛門病痔疾療院 電話四四三番 振替京城二一八番



十日の便秘も一服で通じる其快さ! 本舗 大阪 合資會社 參天堂

商況

東京株式特電

二十四日後場

	中値
東株	一六五、八〇
同　新	一五〇、一〇
東鐵	一四〇、〇〇
同　新	一〇一、〇〇
商船	九一、五〇
同　新	八九、三〇
郵船	一四〇、〇〇
同　新	一一〇、〇〇
東紡	九一、〇〇
鐘紡	二一〇、〇〇
日清紡	一〇〇、〇〇
東電	九六、〇〇
日本郵	一〇一、〇〇
北炭	一一六、〇〇
第一新	一九三、〇〇
第二新	二一二、〇〇
日石	六一、〇〇

東京郵明中値

二十四日中值

東拓	一六一、〇〇
朝鮮銀行	一一五、〇〇
同　新	一一二、五〇
第一新	一一三、〇〇
第二新	一二五、〇〇
內國製糖	二七五、〇〇
臺灣製糖	一七〇、〇〇
東京瓦斯	一四六、〇〇
日清汽船	九〇、七〇
同　新	一八六、五〇
同　新	八九、〇〇
日本郵船	二四六、〇〇
同　新	一三六、〇〇
東株	一九六、〇〇
同　新	一一六、〇〇
寶田石油	七五、〇〇

東京期米特電

二十五日前場

當限　三十九圓四十九錢　中限　三十九圓四十錢　先限　三十八圓五十九錢

大阪株式特電

二十四日後場

宇治川水	……
東洋紡	一〇〇、〇〇
東紡	一〇〇、〇〇
合同紡	二七〇、〇〇
大阪商船	一三八、〇〇
東洋製鐵	三三一、〇〇
同上新株	一四四、〇〇
大阪商船	一六〇、〇〇
同上新株	六〇、〇〇
堂島米穀	一六〇、〇〇
大阪株式	一七〇、〇〇
同　新	一七〇、〇〇
日棉	……
南滿鐵	……

大阪三品特電

二十五日前場　一月限　六月限　三〇二、一〇

大阪期米特電

二十五日前場

當限	三十九圓四十錢
中限	三十九圓三十二錢

下關期米特電

二十四日後場

先限	三八、八四	三八、八四
寄付	三八、八九	三八、八九
高値	三八、八〇	三八、九〇
安値	三八、七九	三八、八九
止め	三八、八九	三八、九六

下關期米特電

二十五日前場

	當限	先限
寄付	三九、一〇	三九、一一
高値	三九、二〇	三九、二九
安値	三九、一〇	三九、〇七
止め	三九、二〇	三九、二一

下關期米特電

二十五日前場

	當限	先限
寄附	三八、七〇	三八、五〇
高値	三八、八〇	三八、八五
安値	三八、五〇	三八、五〇
止め	三八、七〇	三八、五六

雜報

正米依然強硬

正米は實物僅少なるに加へ荷主は先高を見越して賣惜みの模樣なるを以て依然強硬を持し後場も之に準じ保合ひたり

迄賣買行はれ三十六圓

直に出來しは之に對し當業者間に於て賣買行はれたり

早晩或程迄の下落

に至るべし

粗布暴落す

棉花の暴落に從ひ粗布も亦大暴落し一時は四百六十八圓迄下落し最近四百二十圓に至る

四百二十圓

細布晒金巾

細布は粗布に比し稍堅調なり

棒鐵引締まる

丸鐵及び平鐵の相場は引締まり五十錢方引上げたり

五圓方騰貴

豚皮低落す

豚皮は輸出の杜絕せる爲め低落し皮革の市價に影響せり

人蔘強く三錢方低

支那栗沸騰

淺草新乾海苔

十八圓見當

方引緩み各品共十錢

燐寸持合ひ

蜜柑依然軟弱

薄荷減

內地麥市況

下關相場

大麥

麥安

各地商況

群山正米　二十三日

釜山米市場　二十五日

同	四十二圓二十錢
同當用	四十二圓四十錢
朝鮮一等白米	四十二圓八十錢
元山大豆	廿一圓四十錢
ペアン大豆	廿二圓六十錢
端川薄青大豆	廿二圓六十錢

手控勝

仁川正米

生魚小場

京城日丸市場

仁川期米

一二十五日前場（氣挫け後高）

先三十六圓

十錢と寄付八十五と崩

仲買店

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長四〇四番

（廣告）寄合　仁川本町　三ノ五

市場雜觀

大阪二百四十丁の薄商

三十九圓五錢

大阪沖着

熱狂相場

制限令單に風說

鮮米移出の利目

仁川米豆取引所

廿五日の三月限

寄付	三十五圓九十錢
高値	三十六圓十錢
安値	三十五圓八十錢
止め	三十五圓九十錢

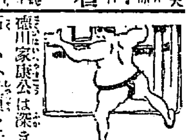
賣買取組高　一月限　四千七百石　二月限　七萬五千石

北濱たより

商船株

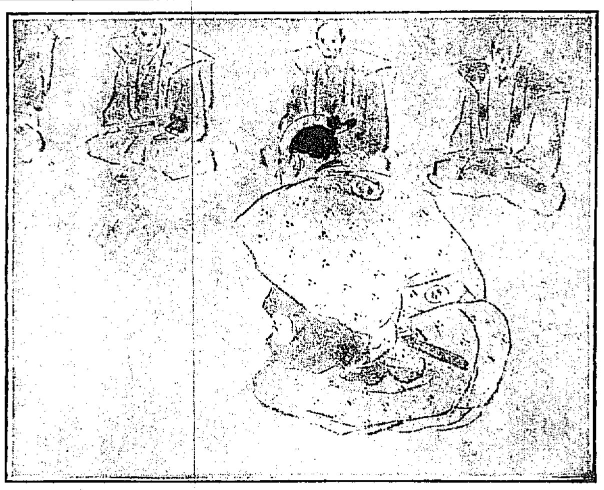
仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店　仁川海岸町三丁目

卅六番角力



毛谷村六助　百二十五席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

德川家康公は深き考へあつて一萬石といふ祿を與へたので、堀尾帶刀は左樣申しましたが、何しろ家康公の前に出し、殿下御前に於て此儀申し上げますれば、家康公より其許には御褒美を下さる事になりました。



參りそれに就いて自分に會ひたいといふので、聞き是非大いに喜び、宜し、俺が出て德川の家來には悟ういふ勇士がある所を見せつけて遣らうと肩を怒らし城中へ參りました。

京都へ立歸り德川家返答の次第を秀吉公に申し上げ、猶村越三十郎の疎忽の話をすると秀吉公は『我名を忘るゝとは世にも珍らしき疎忽な奴があるものぢや』とお笑ひになつた。

奉天通信

倉庫業勃興の機

古本買受

京城明治町通り　野村書店　電話二〇五〇

一月廿六日

（舊）十二月廿五日

▼六白▲　▼七赤▲　▼八白▲　▼九紫▲　▼一白▲　▼二黑▲　▼三碧▲　▼四綠▲　▼五黃▲

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

ミツワ規那鐵葡萄酒

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

香味色佳良滋養力偉大　健胃補血興奮作用卓絶

定價　壹壜　金壹圓七拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

本品は山梨縣宮崎葡萄酒醸造所謹製の天然葡萄酒を基礎とし、純良高貴なる規那並に鐵を特殊の製法を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に變敗する憂ひなく規那、鐵及び葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての效力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不良、慢性の衰弱並に下痢、貧血、萎黃病、冷血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並に病後の衰弱等一般の虛弱者に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食事の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血した病人
一、最も虛弱なる人
一、無氣力にして何をするも根氣の續かぬ人
一、產後の衰弱者
一、病後の衰弱を早く回復したい人

一、色蒼く肉痩せ活氣なき人
一、腺病質の人
一、頭痛に罹つて居る人
一、肺結核性の素質を有する人
一、下痢の永く續いて居る人
一、萎黃病や血液の病に罹つて居る人

一、肺結核や肋膜炎其他の病後
一、加答兒や其他慢性の病氣に苦しんで居る人
一、ヒステリー症に罹つて居る人
一、ヒポコンデリー症に惱される人

發賣品目錄御申越次第送呈　ミツワ石鹼本舖　東京日本橋區橘町　丸見屋商店

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.
100 tablets ¥ .50
500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

醫學博士酒井和太郎氏研究の結晶精粹たる

ミツワ人參錠

百錠入五拾錢　五百錠入貳圓　內地以外は關稅運賃を加ふ

主效　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腎臟炎、膀胱炎、充血、貧血、老衰、營養不良、精力減退

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて漢藥人參を實驗的に研究し、興奮、強壯等の諸作用を證するものにして、合理的に精製せる諸症を現する疾患に奏功す

◎ミツワ人參錠適應諸症候

一、頭が重く或は痛く頭の內が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて常に不平な人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、夢を見たりする人
一、些細の事を氣に惱む人
一、何事にも怒り易い人

一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、精神の憂々する人
一、何事も厭世的になる人
一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人

一、雜念頻りに起り集注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、腦疲勞や遺精で悲觀する人
一、腎臟病に惱む人
一、產前產後又は病後の衰弱を防ぎたい人
一、精力を強くしたい人

大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）

群山大阪行 安東丸	一月廿八日	正午出
木浦大阪行 信濃川丸	二月一日	正午出

（元山出帆）

西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸	一月廿六日	後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸	一月廿五日	後九時出

（大連出帆）

上海、基隆行 湖北丸	一月卅一日	前六時
同	二月十四日	後六時出

內地各港出帆主要航路

日本郵船出帆

（仁川出帆）

大連、秦皇島行 酒田丸	二月五日	朝出帆
芝罘、天津行 淡路丸	二月九日	正午出帆

都合ニヨリ旱發スルコトアルベシ

朝鮮郵船出帆

鎮南浦行 平安丸	一月	日
平壤丸	一月	日
敦賀行		
浦汐行	一月	日
雄基行		
成鏡丸	一月廿二日	元山發
忠清丸	一月	日
元山雄基線 穩城丸	一月十八日	元山發
大阪行		
越後丸	一月	日
關門行	一月廿六日	元山發
非丸	一月廿九日	釜山發
金剛山遊覽便		
濟州島行	一月廿一日	釜山發
旱年丸	一月廿二日	釜山發
濟州島行		
東京 公州丸	一月廿六日	木浦發
木浦麗水線		
多島海行		
木浦行	一月廿一日	仁川發
海州行		
鎮南浦行	一月廿日	仁川發
大連 青島行 江原丸	一月	日

本京城南大門通（電話長一九三三）元山、釜山、仁川、木浦、京城其他各寄港地ニ荷客取扱店

京城日報
第五版

[illegible]保險率を[illegible]錢に第十一號第七號の下の保險率を[illegible]保險料率に依る各航路の保險料率が同一[illegible]る場合に於ては凡て一航路に對する海上保險料率に依る
保險料率に付ては内地に在りて[illegible]契約にして[illegible]明日以前に船舶が出港する場合は從前の規定に依ること同時に同規則第一條に依り船舶の[illegible]

[illegible]近日日本海運株式會社に對し種々無根の風說世上に傳へられ居れるが之に關し同社重役の辯明する所[illegible]

▲諸經費を控除し一百[illegible]萬圓の純利益を擧ぐる計算なれば今期即ち二月の決算に於て依然二[illegible]九十八萬七千五百餘圓の利益を擧げ得るが故に是亦二割配當を繼續[illegible]八十四萬圓[illegible]

▲結局九十一萬圓にて伏木丸及瑞鶴丸の二隻約四千三百[illegible]入金濟となり殘額は來る二月末日[illegible]千圓の回收困難なるやを傳ふる者[illegible]これ既に三十四萬六千五百圓は[illegible]

▲噸當り三百圓 見當の[illegible]日本海[illegible]役間に於て此際解散の意嚮を抱く者無きは勿論恐らく株主中にも[illegible]方針を以て生れたるものなれば[illegible]

小邦簇立
京城日報

果して之を慶すべきか

大戰爭の結果として、當然來るべき歐洲地圖の色取が、如何に變更せらるべきやに就きては、直接の利害を感ずること薄き吾人に取りては、寧ろ一種の興味を帶びて觀測する所なるが、其審らかなることは勿論講和會議の結了に俟たざるべからず。但し今日に於て確言し得べきことは、從來墺地露三國に於て統轄せられたる中歐以北各種の民族が、雜然として各自の獨立を企圖し、弱小なる國が喧嘩に簇立し、恰も原始的状態に復歸せんとするの傾向の顯然たることなり。啻に歐洲のみならず、西伯利に於ける現状、はた紅海より波斯灣一帶に及び、ヘジャズ聯邦を建設し、土耳古の羈絆より脱却せんとしつつあるが如き、米國大統領ウイルソン氏が所謂民族自決主義なるものは、殆ど制限せられざる勢力を以て蔓延しつつあるを見るに足る。

思ふに獨墺露瓦解の善後を策するには、民族自決に依るは頗る道理に適し、且つ各種民族の希望を充すに最も好都合なるは疑ふべからずと雖も、此の如くにして簇立したる許多弱小國相互の關係、並に之れに隣接する大國との交渉を、民族將來に亘りて想像するときは、吾人唯寒心を禁じ得ざるものあり。何となれば人類の間に生存競爭の絶滅し得ざる限りは、世界は到底一種の修羅場たるを免れず。弱肉強食は忌むべき限りなりと雖も、是れ人類の異由なるを奈何にせん。國家も亦人類の集合に相違なきを以て、人類に行はるゝ原則が、國家の上に例外となるべき理由の存するなし。論よりも證據、世界三千年間の歷史に現はれたる、國家存亡興廢の事蹟は、一として之を證せざるはなし。殷周の昔は扨措き、近く歐洲の伏魔殿と稱せられたる巴爾幹半島に於ける勢力の軋轢、是より稍々遡りて那翁時代に於ける中歐諸國等、皆小邦の簇立に因り、殆んど一日の寧息なかりしにあらずや。更に是れより遡れば羅馬帝國分裂後の状態に看よ、小邦簇立の衰弱なる昭々乎として明かなり。故に今回は例の國際聯盟を以て世界中の取締を爲すことになるも、吾人は恐る、所謂國際聯盟なるものは、遂に強者の勢力維持機關に終るなからんことを。

那翁時代に於ける獨逸(當時獨逸といふ名稱は無かりし)勢力一變のために、辛き經驗を嘗めたることは、今猶其の國人の忘れ得ざる所なるべし。フレデリツキ王の勃興を喚起し、維廉一世の帝國即位に謳歌せる獨逸國民は、却つて永久に小邦分裂に甘んずるものにあらず。墺地利の如き混合民族の國々に在りては、由來一致の至難なるものありと雖も、自ら其の歷史を顧みるときは、然として懷舊の情に堪へざらん。反動として、今日の處は平和の聲、正義人道の叫びに、目も鼻もなく引きつけられ、民族自決に因りて其の自治獨立を得れば、一期の希望こゝに全く達し得るの想ひを懷き居る模様なるも、さていよ／＼講和會議の終了を告げ、強國の壓迫は依然として昔日に變はることなく、小國各自の關係も亦依然として舊時の而倒錯綜なるを見、虚心平氣にして其の自治獨立の將來を眺むるときは、心中に大なる陷穽の横はるを覺らざるべからず。是れ其の小邦簇立が一層複雜なる紛亂を惹起すの秋にして、世界の將來は今よりも更に多事多忙ならざるべからず。吾人今殊更に民族自決主義を呪ふにあらずと雖も、小邦の濫急者流と和していウイルソン氏の提唱を謳歎するに躊躇するもの以て茲に存す。

混亂の露國
濟はれざる國民
從軍記者 早川已之利

專制政治で散々苦しめられた露國民は、過激派に依つて更に一層の苦痛を嘗めた。其結果露國民の思想は極度に混亂し、殆んど觀念の下しやうもなくなつた。恐く民族の露國民は、統治階級及び貴族富豪等特殊階級を除いては、主義が、虚無主義者であつた。知識階級や、大學生や、勞働者や兵卒や、農民が、是等兩主義の味方であつたことは言ふまでもない。然るに現今では、過激派が餘りに亡状を逞める許りでなく、彼等のために蹂躙られて、憧れてゐた生活の怡樂も、富も、權利も、得られないので、識階級は言ふに及ばず、下層民までが過激派に憎惡を擬かすやうになつた。◇記者は西部西伯利各都市を視察する毎に、又汽車中に於て努めて種々な階級の人々に會つて、彼等の意見を聽き、且つ、教育、行政等に就て、仔細に觀察したが、その統一なき、歸趨する處なき混亂状態には唖然たらざるを得なかつた。記者は勞働者に對して『おい勞働者、昔と今とどつちが宜いかね』と尋ねたが、馬車屋も、鐵道從業員も異口同音に『そりや王樣時代が善かつた。露西亞人は馬鹿だよ、何でも彼でも滅茶苦茶にして了つて、パンも碌々食へないぢやないか、帝政時代が善い』

ね」と訊くと『王樣なんか何になる、只安心して暮せさへすりや好い』と答へるのが常であつた。◇一文不通の勞働者の前で日本の『君が代』と同じ『ボーゼ、ツアリヤ、フラニー』を歌つて見せると、口を衆ぐ眞似をして、止せと制するので、揶揄半分に、これは皇帝歌ではないかと言ふと『いや皇帝ぢやない、ガスボジン、ロマノフの歌だ』と答へる。(ガスボジンは日本の君位の稱)蓋し皇帝なんて言ふと異い目に遇ふから止さうといふ意である、最早學校でも此の歌は歌はせない、小學生徒も口の裡ですら歌ふことを憚るといつた状態である◇全露政府の獨裁官コルチヤツクの人氣は、始めの裡こそ平和に治めて見れば宜いと言つて居たが、近では專制横暴を働くので一部に評判が惡くなつて、そろ／＼反對運動が露骨になり始めた、それかといつて『君等は過激派が好きか』とでも訊かうものなら非常に氣を惡くして了ふ。中には我々に對して『日本にも過激派があるさうぢやないか』と突飛な質問を試みるものがある。調べて見ると米騷動の暴徒を目して過激派と信じてゐるのであつた、米騷動と過激派—露西亞人が戰ひに負けても主義に勝つといつて過激主義の高延を誇るもの、多いことは爭はれぬ事實である、右のやうに同じ下層民でも過激派に同情を寄せるものもあれば、これを呪ふのもあるが、大體に於て[illegible]何は問はず、只善政を施し、政治家が現はれさへすれば、夫れで宜いといふのが一致した答である◇然し西伯利と歐露とは[illegible]交通の杜絶、病的の軍閥、政治家の無能、勞働のために一時沈靜した人心も、再び攪亂されんとすれば暴動を惹起さんとする形勢は、日に／＼濃厚になつて來る、惡黨暗惡の民の多い露國に於ては[illegible]すれば、四出して行く處を知らぬ、將來大雄現はれて、強烈なる道の下に國内を統一しても、專制政治を實現して露國は永遠に救はれないであらう、然らば斯かる濟はれざる民衆の上にある統治階級や有識階級の思想はどんな状態の下にあるか

財界の新舊人 (14)
藤井寛太郎君 (上)
不二興業專務
西海生

財力地位それから肩書、さう云つたものを一切脱つて終ひ、京城の有力者を裸體にして、同じ線から實社會に出發さしたら、何人が最も早く走り、何人が最も早く名を成すかと云ふ疑問を此頃ある實業者の會合でその中の一人が出したさうだ、所が多くの答へは躊躇なく不二興業專務藤井寛太郎君を擧げ、それには餘り異議も出なかつたと云ふ

▲藤井君は一言にして評せば、エライ人である、不屈不撓の精神に充ちてゐる人である、大きい事をよく口にする、然しその大きい事を實行して行く手腕のある人である、某銀行の人と今年の米價の前途を談じ、君は大勢昂騰唯外米の大量輸入をなす外調節の途なき事を力說してゐた、すると傍から第三者が藤井君の營業者たる立場を指摘し、その强氣たる事を云ふや、君は威猛高になり『藤井は天下の藤井だ、區々たる自己の立場より議論は立てぬ』と放言したさうの話もある、實際君は京城若くは朝鮮の藤井寛太郎でなく、天下の藤井寛太郎を以て自任してゐるやうだ

▲藤井寛太郎と云ふ名は十數年來朝鮮—殊に湖南線の方面に雷の如く響いてゐるが、明治十二年德島の生れ、未だ漸く四十歳の壯年に過ぎぬ、今日では不二興業の專務として小一萬町歩の所有地と經營委託地の監理をなす、東拓に次ぐ大地主、四渠水利に手を出し、副として不二商業會社の經營もしてゐる、然しその實業界に身を投じたのは、明治三十二年大阪藤本合資の一店員として會社に入りしを振出しとし、その來鮮は三十七年の三月、廿六歳で同社の重役群山支店經營のためやつて來たのが初めてである

▲君は群山に上陸してから全州平野の水田買收を行つた、地價は一反歩何圓と云ふ時代であるから、可なりな面積を手に入れたらしい、唯當時は今日の如く平靜でなく、火賊横行の時だから餘程の危險はあつたのであらう、此の五六年來朝鮮に於ける水利事業の必要と云ふ事は猫も杓子も唱ふるやうになつたが、藤井君は全州平野の土地に著目すると共に、水利施設の急務を力說し出したものである、何でも四十年頃目賀田財政顧問を訪ひ、比儔稀な例の雄辯で水利事業の等閑に附すべからざる事を論じ立て、水利組合條令公布の盡力を求め顧問を動かしたさうだが、その進言は伊藤統監にも通じ『[illegible]道理な事をよく喋る』と言ひ乍ら感心したと云ふ、君の建議のためのみでは無論あるまい、然し水利組合條令は翌々明治四十一年に至り度支部より發令された

▲朝鮮に於ける最初の水利事業は君の獻身的盡力により、全北益山郡の臨益一萬三千餘町歩に行はれたのである、工費三十餘萬圓、明治四十三年起工、四十四年に竣工した、當時の事業としては實に破天荒の企であつた、此の事業は大體に於て成功してゐる、次いで明治の末期より大正三四年まで平北の地の踏査、資金の調達に狂奔せる平北鴨綠江岸に於ける七千町歩の大水利事業は、結局東拓に資金を仰ぎ、大正五年起工七年に竣工した、工費百五十萬圓、本邦第一の大水利と稱せられてゐる、右の大事業は殆んど君の力によつてなしとげられたもので、その他全北の水利事業二三にも關與を有つてゐる、要するに君は朝鮮水利事業界に於ては智識經驗兼備へたオーソリチーである

鰲山

五色饅頭
剣花坊

近頃の落語など千篇一律で、種はみんな昔の輕口から出て居る、昔の輕口には好いのがある。『口拍子』といふ本に。

仁王へ紙を嚙みて吹きつけると力が出るといふを聞き、若い者二三人連れにて誘ひ合ひ、或寺の金剛へ、滅多無性に吹付けしが、一人懷中を探しながら、たつた今鼻紙を出すとて、ツイ金を一分落した、といへば、連の者うろ／＼四邊を尋ぬれば、仁王も首を振りながら、闇中を見てきよろ／＼。

仁王も一分をたづねる仲間へ入れたのは奇想天外である。

料理人、飯炊に山葵を洗つて下されと賴めば、あいといひながら如る、しばらくして料理人、まだ山葵はと云へば、食つて見て辛味が抜けませぬ。

なども秀逸である、こんなのから面白い落し話は拵へ出される。

圍碁虎の巻 第壹卷 第七號
野澤五段 破門状 一部殘本十三冊 半年分金貳圓五拾錢、一年分金四圓五拾錢
鈴木、中川、瀬越、井上諸氏談
▲破門第二世 因本
合七段 ▲星の研究 鈴木五段 ▲新撰詰碁 名人 ▲布石攻
古碁 ▲實戰解剖 雁金六段 ▲はめ手 瀬越五段 ▲新譜 七子局
必勝法 ▲少年碁 村田初段 ▲三子必勝法 本因坊 ▲古碁
詳評 名人本因坊
發行所 東京麻布區富士見町四三 振替東京一七八五 富乃日本社

精神修養 逸話の泉
高島平三郎先生著 (各編重版)
▼第五編第六編新刊發賣最好評▲
本書第一編より第四編は發刊以來頗る讀書界の要求に適應し學校教師の教材として到る所に歡迎せられ、或は青年男女が精神修養の資料として紙價を貴からしめたり、古往今來史上に現はるゝ帝王明君、賢相補材、烈婦節女、孝子、學者、詩人、富豪、其他百般人物の中、取つて以て修養の資となるべき事跡を採集して[illegible]各編を通じて幾多の歷史畫を見るの觀あり[illegible]一巻の良書は必冊に値する
▼第壹編 定價壹圓 送料六錢 ▼第四編 定價壹圓六拾錢 送料八錢
▼第貳編 定價壹圓五拾錢 送料八錢 ▼第五編 定價壹圓六拾錢 送料八錢
▼第參編 定價壹圓 送料六錢 ▼第六編 定價壹圓六拾錢 送料八錢

關寛之先生新著
父と母と教師のため 玩具と教育
◇定價金一圓七十錢 ◇郵送料八錢 四六判布製函入
玩具は天が其子の父母教師に與へたる最良の教育用具なり。然るに我國の父母教師は其研究に甚だ冷淡なりき。本書は總振假名附にて最も通俗に玩具と心理、玩具と教育、モンテッソリー式教具の七種、玩具の選擇法、世界各國の玩具、古代の玩具を說き、附録として玩具の教育的價値表、兒童の年齡と玩具表を添ふ。乞ふ世の父母たり教師たるもの必ず一本を備へよ。

新年第一の讀物
高島平三郎著 教育に應用したる 兒童研究 定價三圓三十錢 送料十六錢
同 婦人の生涯 定價一圓四十錢 送料八錢
同 家庭及家庭教育 定價一圓 送料八錢
高峰博著 家庭に於ける 婦人の覺醒 定價一圓九十錢 送料八錢
關寛之著 兒童學概論 定價三圓 送料十二錢
嘉悦孝子著 怒るな働け 定價一圓二十錢 送料八錢
トルストイ著 我等何を爲すべき乎 定價一圓七拾錢 送料八錢
同 我等何を信ずべき乎 定價一圓 送料八錢
原正一譯述 天界の神秘 定價一圓三十錢 送料八錢
新城和一著 ドストイエフスキイ 四六判四百頁 定價一圓七十五錢 送料八錢

文學士新城和一氏新譯
ドストイエフスキイ 感想及印象
トルストイ以上の天才と稱せられてゐるドストイエフスキイの評論、感想、印象を集めたもの、彼があらゆる重要問題及彼の耳に來つた世界に映じた事物は悉く論じ盡し[illegible]殊に此のプーシキンの演說は衆皆感泣して緊張したと言はれてゐる。附録として傑作『弱き心』を添へた
發兌元 東京市麴町區平河町五丁目 振替東京二〇九一四番 電話番町四二五八番 洛陽堂

京城地方法院
公告
左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス
一、京城府南洞百貳拾壹番地 垈參拾坪 最低競賣價額金百四拾圓也
一、右地上ニ建設 木造草葺平家建本家 壹棟 此建坪七合八勺
附屬 木造草葺平家建 壹棟 此建坪五坪六合參勺五才 最低競賣價額金七拾五圓也
不動產所有者 金[illegible] 債權者 [illegible]
一、京城府安國洞五拾貳番地 垈五百六拾四坪 最低競賣價額金五千七拾六圓也
一、右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家 壹棟 此建坪百五拾坪七合五勺五才
附屬 煉瓦造瓦葺平家建 壹棟 此建坪四拾坪參合 最低競賣價額金參千圓也
一、京城府八判洞百四番地 垈五百拾六坪 最低競賣價額金貳千五百八拾圓也
一、右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家 壹棟 此建坪百貳拾坪七合 最低競賣價額金壹千八百四拾五圓也
不動產所有者 尹[illegible]
一、京城府社稷洞拾九番地 垈九坪 最低競賣價額金九拾五圓也
一、右地上ニ建設 木造草葺平家建本家 壹棟 此建坪六坪九合五勺 最低競賣價額金參拾五圓也
不動產所有者 張[illegible]
一、京城府昌信洞五百六拾壹番地ノ[illegible] 垈[illegible] 最低競賣價額金六百九拾六圓也
一、右地上ニ建設 木造草葺平家建本家 壹棟 此建坪九坪參合五勺 最低競賣價額金壹百五拾圓也
不動產所有者 [illegible]
右競賣期日ハ大正八年貳月五日午前十時トス

商業登記
株式會社朝鮮商業銀行ハ大正八年一月拾九日江原道江陵郡江陵面大町四番地ニ支店ヲ設置シタリ
右大正八年壹月貳拾貳日登記
京城地方法院 開成支廳

朝鮮教育法規提要 朝鮮教育研究會編纂 定價七十五錢 送料八錢
菊地寛著 心の王國 一、三〇 一二
芥川龍之介著 傀儡師 一、四〇 一二
與謝野晶子著 心頭雜草 一、四〇 一二
山田花袋著 再び草の野に 壹圓四拾錢 一二
姉崎嘲風著 文は人なり(縮刷) 壹圓五拾錢 一二
加藤美倫著 是丈は心得おくべし 八拾五錢 六
もう六著 貧乏世帶 一、二〇 六
劉露香著 裏門から 一、五〇 一二
大類伸著 史蹟めぐり 一、二〇 六
最新刊
京城本町一丁目 大阪屋號 電話二〇八六番 振替京城二五七三番

スワン萬年ペン
御用命品の眞價は既に社會に定評あり[illegible]
京城日報社代理部

京城日報編纂
最新書式大全
[illegible]各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書等始メ[illegible]度量衡、特許意匠商標、實用新案、市場、水產、農林、銀行、鑛業[illegible]内地共通ノ書式テモ掲載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト[illegible]論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右ニ一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ヲ知悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必[illegible]

船主及船員ノ爲
▲船舶職員受驗者指針▼
遞信局仁川海事出張所長 熊野惠賜氏序文
遞信局仁川海事出張所 稻森丈夫著
四六判約三百頁 定價一圓八十錢 郵税[illegible]
自己ノ權利ト義務トヲ知リ進ンデ高等海員トナラムトスル船員ノ必ス本書ヲ座右ニ備ヘラルヘシ[illegible]
發賣元 嚴松堂 京城太平通リ(振替京城三〇〇番)
京城日報社代理部

少年講談
壯快無比 二月號 安くて面白い 十錢
◇忍術應用 鬼賊退治 大河内翠山
◇冒險 波路遙に 北島春石
◇孝子仇討 田宮坊太郎 悟道軒圓玉
◇小人島 ◇懸賞三大傑
◇新田左中將 宮崎一雨 ◇肥後の仇討
◇哀憐小說 勇犬物語 大木秋果
◇探偵小說 島の地下室 若木作
◇金庫の謎 北川 ◇終局 蠅坊主
東京府下 女子文壇社

不知火
長田幹彦氏著 ◇◇ 七版發賣
北野恒富、島成園、島御風三氏の挿畫合計七十六頁
前篇後篇二冊箱入・定價金貳圓五拾錢・送料八錢
何時までたつても賣れの止らないのは長田さんの小說です。其中でも「不知火」は燎原の勢で賣れて居ます。主人公の悲しい運命が今の若い人達に深く同情されて居るからでせう。
東京市芝區芝公園 振替東京一四一七七 玄文社

□三殿下に頸飾章
近く御親授あらせられん

天皇陛下には來る四月二十九日御成年式を擧げ給ふ皇太子殿下並に近く祝賀特使として各聯合國に御差遣の大命を拜さる、閑院宮殿下及び使命を果し御歸朝ありし東伏見宮殿下に對し近く菊花頸飾章を御親授あらせらる、趣き洩れ承はる(東京特電)

第四十一帝國議會

貴族院(二十四日)

▼本會議(夕刊より續く)

本電報は前號非の詳報なし前號末の高橋作衞氏の質問中『他日に保留すべし』との項と本議事との中間の電報不統一切に著す答辯節揭載すべき不取敢茲に揭ぐることゝせり

▲山脇玄氏　登壇近時民衆の勢力增進せり社會問題解決は政府の重要視す可きものなりと說き

▲原首相　國防と產業との關係の密接なる事、陸軍の農繁期二週間休暇、勞働保險が社會政策の一端なるを述べ次に

▲床次內相　公設市場は實行を地方廳に促しつゝあり又職業紹介所は都市の施設に委ねたりと答ふるや山脇氏は更に勞働組合に對する首相の意見を問ふ首相は此際輕卒に勞働組合法を推定するは不可なりと述べ尚ほ文相よりは不就學兒童に就き答辯する所あり

▲山本農相　は米價騰貴高額決定は止むを得ざれば實施すべし但し酒造制限は行はざるに決定せりと述べ次に石黑忠悳男　は昨年の人口と米の收穫とを對比して幾何の不足ありや米價高低の標準如何と質すに對し山本農相は昨年の米不足額は約四百五十萬石なり米價標準は三十圓乃至三十五圓ならんと答へ次に

▲吉井幸藏伯　登壇國際聯盟に就き述ぶる所あり更に日本の外交に就き外國の誤解を招く公論及び行爲を打絕るの方法無きかと質問す之に對し

▲原首相　は學者の意見發表は自由なるも夫々政府の方針と同一視さるゝ事あるは甚だ遺憾なり左りとて之を取締るは甚だ困難なりと答へ之にて質問を終り日程に入り毛利公外十三氏提出の請暇の件を可決し大正七年法律第二十七號中改正法律案は田中館氏提案の理由を說明し次に鎌田氏二重國籍法中改正法律案に就き山本農相より說明する所あり委員附託となり午後二時五十五分散會せり(東京特電)

何と問ふ

▲高橋藏相　は決定的明言を爲す能はずと答ふ更に湯淺氏は減債基金の必要大いに減じたり所見如何を叩く、高橋藏相は考慮の餘地ありと答ふ

▲上田彌平氏(政府)　政府は營業稅の如き惡稅に對し改正の意嚮ありや此の質問に對し高橋藏相は稅の改廢は容易の事に非ざれば尚大いに研究の要ありと辯ず上田氏は近に各國々債整理の爲貨幣試行を切りたぐるの虞無きや其帝國の立場如何之に對し高橋藏相今日は其虞無しと述ぶ次に正木照藏氏(無政)は船舶管理令存續の理由を問ふ

▲野田遞相　同令存續の理由は陷力と見る可しされど當局は手心を加へつゝあり講和成立迄は之を存置するものと承知ありと度しと述べ二三押し問答あり次いで正木氏は戰後の航路補助問題に就き二箇年も据置く理由如何と肉薄すれば野田遞相右は商權伸張の爲めなりと答へ更に遠洋同盟運賃に就ては干涉せずと言明す次に押川方義氏(無所屬)は危險思想取締の標準如何に就て質す

▲原首相　危險思想とは國家の基礎に關するものなり現時之を發見せざれば說明の要なかるべしと答へ更に押川氏の長々しき質問に對しても何れも簡次に葬られ質問は移り小學教員待遇不良は兒童に影響する所少からず當局の所見如何と叩く

▲中橋文相　教員優待問題に就ても大學、專門學校教授增俸は提案しあり中等教員に就ては目下講究中なりと答辯し之にて當日の質問を終り四時卅五分散會せり(東京特電)

衆議院(二十四日)

▼豫算委員總會

夕刊より續く午前…午後四時散會さあり

▲湯淺凡平氏(國民)　財界の不安に對し金錢以外の救濟方如何

▼國葬費追加豫算委員會(二十五日)

二十五日の衆議院は國葬費追加豫算案上程の日なり午後一時開會大岡議長は先づ書記官をして政府より大正七年度總豫算追加案並に元田肇氏外各派十三名の提出にかゝる決議案を提出されたる旨を報告せしめ原首相を喚く

▲原首相　登壇謹嚴なる態度を以て演說して曰く李太王殿下薨去の報に接し哀悼の至りに堪

▼本會議

明ありて全員一致可決此の間僅に五分更に本會議に入る

▲岩崎勳氏(政友)　の動議に依り本日の日程たる會計法中改正法律案、海軍工廠資金會計法中改正法律案、國債整理基金特別會計法中改正法律案、事業公債金特別會計法中改正法律案、臨時國庫證券法中改正法律案、朝鮮事業公債法中改正法律案、臺灣事業公債法中改正法律案を通じて十八名の議長指命の委員に附託するに決し更に同氏の緊急動議に依り議事日程を變更し追加豫算案並に決議案の審議に入る事となり議長は豫算委員長の報告を求む

▼國葬費可決

▲齋藤珪次氏(政友)　登壇本員は茲に總豫算追加案第六號の報告を爲す光榮を有す『大勳位李太王殿下薨去に就き國葬費十萬圓を要する案に就き豫算委員會を開きたり、委員會は故李太王殿下の薨去を哀悼痛惜し哀悼の誠意を表する爲め政府の提案通り全員一致を以て可決せり』と述ぶ右報告終るや議長は委員長の報告に就き異議無きやを諮り採決を執り總員起立の嵩一致可決せる事を宣言す次いで決議案の議事に移り書記官をして左の決議案を朗讀せしむ

▼決議案

衆議院は大勳位李太王殿下薨去の報に接し哀悼の至りに堪へず茲に本院の決議を以て恭しく弔意を表す

右提出者元田肇(政友)岡崎邦輔(同)小川平吉(同)江藤哲藏(同)川原茂輔(同)武富時敏(憲政)藤澤幾之輔(同)野添宗三(國民)古島一雄(同)合杉五郎(新政)花井卓藏(無所屬)山根正次(新政)大岡議長は提案の理由を說明す可く元田氏を喚く

▲元田肇氏　登壇、大勳位李太王殿下本月廿一日病に罹らせらる、の報傳へらるゝや本員等は必ず御快方に向はせらる可きを信じ御快癒の一日も速かならん事を祈りしに其甲斐無く廿二日遂に薨去あらせられたる報に接す洵に恐懼の極事にして哀悼悲痛に堪へざる次第なり殿下は天資英明仁慈に渡らせられ御仁政の數々枚擧に遑あらずと承はる彼の日清、日露の兩役に於ける盟約締結を始めとし多年御配慮あらせられたるは顯著の事實にして特に東洋の平和を保維し朝鮮の福利を增進する事に顧念あらせられ終に克く泰平の恩澤に浴する今日あるに至らしめたるは李王殿下の御英斷によりたる事は申す迄も無き事ながら李太王殿下の英明なる御賛助亦與りて多大なるを信じて疑はず斯る次第なれば我皇室にても特別の御優遇あらせらる、事と拜察す李太王殿下は御讓位後德壽宮に御餘生を送らせられ風月を侶とせられ其後世子殿下御遊學あるや一日千秋の思ひにて殿下に御歸鮮あらせられ殊に世子殿下が文武の兩道に御練達あらせらるゝ其雄姿に接し給ひ御悅びも一入なりしと承はる又最近梨本宮方子女王殿下と御慶事の御勅許を賜り不日御式を擧げさせらる可き御運びとなり李太王殿下の御滿悅は想察に餘りありしに何事ぞ不幸病に罹らせられ薨去の報に接せんとは李王家各殿下の御悲嘆は如何許りなりしならむ又梨本宮殿下の御悲しみの程も拜察に餘りあり而も上は聖上の思召も恐懼に堪へず本員は既に國葬費に於て協贊の誠意を表したるも尚哀悼の至情を披瀝し敬弔の意を表するの至當なるを認め茲に本案を提出せる次第なり本決議案は各派聯合にて一致提出したる次第なれば本員が此の際喙を挿むの必要を認めず直ちに可決せらるる事と信ずと述べて降壇す元田氏の演說終るや議長は決議の贊成者の起立を求め總員起立滿場一致可決せる事を宣告し本日は敬弔の意を表する爲之より休會し御葬儀當日も同樣の趣旨にて休會する諸り贊成者の起立を求め之に滿場起立の裡に決定し午後一時四十分散會せり(東京特電)

◇葬儀事項一切決定

二十四日內閣に於る李太王殿下國葬に關する會議終了後高橋內閣書記官長、伊藤式部次長は直ちに谷川朝鮮總督を牛込早稻田の官邸に問ひ一切の細目に亘り決定したるが右は勅令發布と共に大體の發表を見る可し(東京特電)

◇國葬儀豫算通過

[illegible]

◇獨逸外相聲明

[illegible]獨逸外務大臣は各新聞記[illegible]聯合の精神が平和の基礎たるべきを信じ獨逸國家の主義も亦茲に在り吾等は嚴に降伏的休戰條件を[illegible]し吾等は眞に民主主義の最後の勝利を希望し右目的が奇計に依り達し得さるを確信するを以て一部の保守的新聞が[illegible]外交政策を固執し獨逸國民全部を率ゐて一類平和の爲め國家聯合に加入せんとす云々

◇聯盟綱領發表期

二十三日より最高協議委員會は國際聯盟問題の會議に着手せり巴里の一新聞は國際聯盟主義に關する廣汎なる綱領は二週間以內に發表さる可く這は米國の原案其者に非ざれど五大强國一致のものなりと報ぜり(巴里電報)

◇露國問題と五國

英、米、佛、伊、日五强國は露國問題に就き意見の一致を見たり尚公報に據ればウイルソン氏の露國に關する提議は承認せられたるが提案中には露國民は自身露國の事を解決するを聯合國に於て承認する意味を含めりと(倫敦電報)

◇波蘭に使節派遣

公報に曰く講和會議は波蘭に使節を派遣するに決せりと(巴里電報)

◇獨封鎖繼續か

聯合國協商會議は米國が食糧を供給する他獨逸封鎖を撤退せずと傳へらる(巴里電報)

◇支那要求條件

支那は講和會議に於て青島の回復のみならず威海衛租借の取消、東清鐵道還附、關稅改定、蒙古、西藏の開放を要求すべしとの說あり(巴里電報)

◇獨國民議會黨勢

獨逸國民議會選擧の結果左の如し▲多數派社會黨百六十四名▲獨立社會黨二十四▲民主黨七十七▲獨逸民主黨二十三▲獨逸國民黨十一▲中央黨八十八右の結果を以てすれば例へ此中の一黨が獨立社會黨と合同するも國民議會に絕對多數を占むる能はざる事は今や明瞭となれり(ベルリン電報)

◇我軍物資廉賣開始

我軍は烏蘇里、後貝加爾線各所に在る鐵道事務員住民に對し物資廉賣を開始せり(浦鹽電報)

◇阪谷男顧問承諾

阪谷芳郎男は支那政府幣制顧問たるを承諾し近く渡支す可し(東京特電)

◇總督御暇乞

長谷川朝鮮總督は廿五日參內國葬其他の事に就き奏上赴任の御暇乞ひを申上げ廿六日出發の筈なるが或は畏き邊の思召に依り勅令發布の日迄滯在する事と成るやも測られずと(東京特電)

◇內山武官長歸京

西伯利派遣軍慰問中なりし內山侍從武官長は廿四日午後一時五十分無事歸京せり(東京特電)

◇田尻市長弔電

田尻東京市長は廿四日鳥居坂李王世子邸に參向弔意を表し同時に市參事會決議を以て朝鮮李王家に向け弔電を發せり(東京特電)

御臨終の模樣
蜚語流言を放つ輩の爲めに一言す
＝趙重應子談＝

李太王殿下の薨去に就き皇室より渥なる御沙汰あり我々鮮人は感激措く能はざる折柄鮮人間に愚にも附かぬ蜚語流言を放つ輩あり之に對し自分は近侍の人及び御附武官李子爵から耳にした殿下

▲御臨終の模樣　を京城日報を通じてお話したいと思ふ、故殿下の御病氣は俗にいふ中風症であつた薨去の暫く前ごろ殿下の御容體が怪しいので李子爵はお抱申し上げると痙攣を催されたから中風の御持藥たる熊膽淸心藥を一服差上げると忽ち正氣に復されたので近侍の人々は安堵した處が二三分經つと又痙攣が起つた其の時直ちに最新式の御療法でも奉れば或は善かつたかも知れなかつたが元來朝鮮の高貴の方は人體に針を刺すが如き事はしない、又其當時の御病氣が平素御健康に渡らせられるから今日の御不幸を見るやうなことは思はれる筈なく程經て森安博士の拜診に依て

▲始めて手遲れ　である事が判つた、これ人事の及ばざる天命のことゝ殿下として此の御病氣が誘因となるなどとは御思召なかつたことは勿論であるが今にして想へば寔に恐懼に堪へざる次第である白髮殿下には彼の大院君御一族の血統を享けさせられたので中風症の御遺傳がある、彼のお兄君たる李載冕公殿下や姪君たる李埈公殿下も矢つ張り此の中風症で嘆の間に御天折ありこれに徵しても判るのである、而も年來惱ませられた痼疾のリユーマチスも此の御持病の前徵であつたとも云へる、日頃殿下が御健勝に渡らせらるゝとは以上の御持病の身には御不幸二三日前の寒氣は

▲非常に御病氣　に祟つたかと拜察される又聞く處によれば其の以前より多少の御不眠症に罹らせられ御食慾も餘程減退して居られた、これも御不例の誘因になつたものだと信ずる、何と申せ今少しく最新式の醫術を參らせなかつたのが遺憾に堪へぬ

◎朝鮮米移出に就て
―山縣政務總監談―

臺灣にては臺灣米輸移出制限を行ひたる趣きなるも朝鮮總督府にては目下毫も其必要を認め居らず、朝鮮に於て併合以來年々產米の增加及び改良の顯著なるは世間周知の事實にして昨年は前年に比し產米及び雜穀とも稀有の增收を見たり就中米は大要百六十萬石の增收を見たる見込なり然るに本年は前年の輸移出數量に比し右數量を加へたる丈の輸移出能力ありやと謂ふに持越米の缺乏又は人口增加及び農家の裕なるに伴ふ消費の增加其の他の事情をも斟酌せざるべからざるに依り右數量は餘程減少すべし素より其の數量は人々に依り見込みを異にすべきも總督府としては急激なる米價の變動を來さゞる限り出來得る丈け內地米調節の爲に移出を多からしめたき考なり而して必要あるに於ては運輸及び金融上等に付いても精々便宜を與へたく思惟し居れり

◎朝鮮商銀決算

廿四日總會に附議決定せる朝鮮商業銀行第廿五期營業成績左の如し

▲利益分配案　當期利益金七萬四千六百五十四圓七十六錢
此配當計算如左
金八千圓　缺損補塡積立金
金九千圓　別途積立金
金四千圓　役員賞與金
金壹千六百圓　配當平均積立金
金參萬六千五百二十九圓六十五錢五厘　配當金(年九分政府所有株を除く)
金壹萬五千五百二十一圓十一錢五厘　後期繰越金

人事消息

▲篠田治策氏(平安南道第一部長)廿一日夜入城不知火へ
▲宮川五郎三郎氏　同日朝退城
▲馬場鍬太郎氏　廿四、朝退城
▲高井蕃氏(城津建設事務所長)所長會議の爲め此の程入城
▲久門甚二氏(清津建設事務所長)同上二十五日入城

◎白川中將入京

豫て西伯利視察中なりし士官學校長白川中將は赴任の途二十七日午前七時四十八分龍山驛著列車にて入城軍司令官々邸に投宿の豫定なるが廿九日迄龍山各隊を視察し三十日朝龍山驛發列車にて歸東すべし

▲白川中將招待　宇都宮軍司令官は二十七日夜同日入城すべき白川中將を主賓とし隨行員古川大佐、野田德田兩大尉兒玉總督府少將、村田武官副官、龍東調參謀、[illegible]等を招待すべし

◎井戶川少將弔問

步兵第三十九旅團長井戶川辰三郎氏は二十四日夜入城二十五日德壽宮を弔問し同夜出發歸壤せり

◎鐵道所長會議

滿鐵京城管理局にては各線出張所長及び建設事務所長を本局に召集し二十五日より特別室に所長會議を開會しつゝあり

◎保線主任會議

滿鐵京城管理局にては豫て保線事務の改良を圖り併せて諸般の打合せを爲さんため二十五日龍山平壤及び大田各保線主任本局に參集し會議を開けり

◎篠田平南第一部長

平安南道第一部長篠田治策氏は今回浦鹽派遣軍司令部附を命ぜられ東上の途中二十五日午後七時二十五分著列車にて入城不知火旅館に入れり

鳥瞰錄

▲二十三日前釘本副會頭はその五十一回目の誕辰自祝宴を花月に張つて七十餘名の官民を招待した▲何か斯う云ふ會合には若干の改良振りを見すのが同君のくせらしいが、その宴席で二つの新しい事を目につかした▲一つは君の夫人同伴であり、二には獻酬廢止の挨拶だつた▲夫人同伴と云ふ事は結構だと申す外鳥瞰子に新しい感じもないが、獻酬廢止の挨拶は極めて時宜に適して居ると思ふ▲盃の獻酬と云ふ事は少數親近者の間なら交情を密ならしむると云ふ意味より必ずしも不可でない▲然し乍ら六十名の七十名のと云ふ大宴會になり、主人側が一々客の前で盃を戴かねばならぬと云ふ風習は、主人側にとつて迷惑なるのみならず、之れが衞生上より見るも寒心に堪へぬものがある▲殊にそれらに交換さるる盃の酒は半ば盃洗に捨てられるのである、食料節約問題の八釜しい今日、高價な米を潰して造つた酒をみだりに捨てるのは國家經濟上より見るも濟めた話でない▲然し世の中には盃のやりとりをせぬと承知せぬものもあるらしい又盃を主人側から貰ひに出ぬと非禮呼ばはりをする沒分曉の客もある▲左樣な手合には主人側より酒をついでまわつたらよからうと鳥瞰子は思ふ、多數者の集まつた宴會に於ける盃の獻酬は出來るだけ廢止したい▲談はむづかしくなつたが當夜釘本君は結局盃を自由に背ひつつ話しく步いてゐたそれを客からつき込まれると『自由にまわつてゐるんですよ』と云ふ▲釘本君が挨拶だけでも堂々と獻酬廢止をやつたのは、兎に角宴會政策の第一步として鳥瞰子はいい事だと思ふ▲續々第二第三の釘本君に出て貰ひたい

東京期米

二十五日後場　寄　[illegible]

二十五錢と跳ね先三十六圓十三錢高引寄付一錢と押せしも買物に二十二錢と返し十九錢と打止

測量員速成講習錄
東京市京橋區南傳馬町通信工手學校
振興せる我工業界に最も需要多く最も有望にして最も不足せるを測量工手とす本校は此の際を補ふ可く速成三ヶ月修了の講習生を募る校則二錢送れ

女學世界
二月號　▼梅の便り(彩色)…美彥▼女學藝術…兩宮家御慶事外寫眞十數
◆戰後の日本婦人　三宅
◆日本婦人の將來
■結婚哀話　虛榮の夢　北島春不
■最も精神を緊張させた事
□私の觀た寶塚の少女　坪內士行
■職業を持つた婦人
■長篇小說　野茨の花　前田晁
■挿話小說　月光曲　故磯千鳥氏追悼記事
◆粉雪ふる夜に　姬形草
◆一宮君の事ども　細田枯萍
定價二十八錢　東京　株式會社　博文館

麻苧マニラロープ
麻繩玉糸
綿糸燃糸棕櫚繩
各種
麻綿糸ハツ打綱、シデ紐、源平糸、帳糸糸、細引タヽミ糸
○地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計可申候
京城本町二丁目
森政吉商店
電話一五九四番　振替京城一七五八番

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千參百參拾萬圓
總預金　貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目　振替貯金京城一〇一六番　電話一一一七番
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎

李太王殿下御納品
品質撰擇
本品ハ純良白參ヲ原料トシテ精製セルモノニテ色ハ金揚色(紅參ト同色)ニシテ粘著力强ク俗作ナル雜味ヲ有セズ、尾參ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味强ク鐵臭焦臭ヲ有スル粗惡品ト同視スベカラズ。

强壯、補血、與奮、保溫、緩和、止血、發汗、健胃、利尿、鎭痛、收斂等ノ特效アリ
○神經衰弱○老衰○衰弱○冷症○精力減退○貧血○產後○婦人病○肺病○心臟病○腦病○慢性胃腸病○胸膜炎ニ效アリ
特約大販賣店　京城太平通一丁目
京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

總督府濟生院
富院盲啞部ニ於テ來ル四月入學セシムヘキ盲啞生徒ヲ募集ス詳細ハ一月二十五日以降發行ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正八年一月二十五日

去る二十四日弊店出火の節は早速御馳付被下御蔭を以て幸に大事に不至鎭火致候段難有奉深謝候混雜の際御尊名伺洩も有之べく不取敢以紙上御厚禮申上候
龍山京町十一番地
紀豐組製鐵所
主人　小西眞平　敬白

天下一品
增本酒店
仁川新町三丁目　電一〇九

寫眞
宮內府御用　寫眞銅版亞鉛版
精細を以て一般の需に應ず
京日寫眞製版部

京城
熊平支店
振替京城二三番
電話長三一四番

ポンプ
消防組御新設には特に御便宜相計り申候

京日案內
▲看護婦及見習看護婦入用
▲通知收の御方へ極秘迅速信用保證
京城大和町二ノ三　[illegible]
看護婦及見習生採用志望者は至急申込あるべし

○代診入用　希望者は履歷書に寫眞添へ至急申込れたし
鎭南浦三和町　直塚醫院
京日仁川支局

年金恩給　低利長期融通
四年半迄保險不要▲京城永樂町一商品陳列館前下角
江州屋本店

看護婦募集　派出多忙
京城壽町九　電話二八八
京城看護婦會

精神療養所　神經痛リウマチス胃腸病
京城長橋町六五番地　病院其他諸病の治療御依頼に應ず
黃金町二電車停留所北入　松本

を表する 罵め直ちに休會せり（東京電報至急報）

◎壯麗の別天地 洪陵の由來
造營は三箇年を費した

李太王殿下の御葬所は京畿道高陽郡崇仁面清涼里なる故閔妃の洪陵に合葬又は列葬せらるゝやう御内定ありたることは既報の如くなるが洪陵の由來、位置及び周圍の景趣等を略記すれば次の通りである

▼閔妃が殂落 されて李太王殿下は痛く御傷心遊ばされ早速景福宮内に殯殿を設け、王妃の御靈を厭むるに足るべき葬所の御選定に御腐心遊ばされたが容易に適當の場所が發見されなかつた。其年内に殿下は慶運宮に遷宮せられたが其時一緒に王妃の殯殿を慶運宮内に遷移されて更に方々の場所を御選定遊ばされた結果現在の洪陵所在地を御選定になり早速工を起し明治三十年の十月に至つて竣工した即ち洪陵の造營は前後三箇年を要した譯である。從つて

▼總ての規模 は歷代の御陵より雄大壯麗を極め、普通は陵域内に丁字閣を設けられるに過ぎなかつたのが王妃の洪陵には莊嚴なる御殯殿を設けられ京城から洪陵迄二里の間は大道に改修され、清涼里一帶の沿道には楊柳、松苹を植ゑられた。斯く大仕掛な工事が完成してから始めて王妃の御葬儀は催された。即ち薨去後三年目に御葬儀が執行されたわけである。此盛大な御葬儀を濟ませられた李太王殿下は當時コールブラン氏が經營して居た韓米電氣會社に命じて東大門から清涼里の間に

▼特別電車を 敷設され御參詣や御使の爲に使せられた。元より利害などは顧みられなかつたのである。斯うして御造詣になつた場所だけに今日の洪陵を拜しても太王殿下の御葬所として御内定ありたることが肯かれる。其當時御植ゑになつた楊柳が清涼里沿道の兩側を挾んで亭々たる並木を爲し電車終點から左に折るれば兩側は松の林に包まれ、洪陵の中は落葉一つさへ見出し得ぬ一面の芝生が廣々と開け正面の殯殿殿かに遊を際ゝ四林群を密めて閑寂云ふばかりなし寔に悠閑雅寂にして四圍の景趣に富んだ淨域である。

▼咸寧殿に 殯殿建設
目下工事中

李王職祭祀課にては古例に倣ひ李太王殿下御遺骸を安置すべき殯殿を御居所なりし咸寧殿に建設すべく目下十數名の鮮人大工をして工事を取急ぎつゝあるが殯殿出來の上は直に靈柩を此處に奉移し其周圍は白色の幕を引き廻し靈前には禮拜室を設くる事となり居れり而して此殯殿は國葬執行迄は内部に改修を加へ三箇年間魂殿とする事に内定し居れるが魂殿には頗る華麗なる牡丹の繪を配したる屏風を立て廻すが例にて是等の經費數千圓を支出する事となれり

▼候補地三箇所を
選んで精密に下檢分を遂げた
李王職事務官 權藤四郎介氏談

李王職にては夕刊所報の如く故李太王殿下の御葬所を京畿道高陽郡清涼里に内定さるゝや李王職よりは權藤事務官、武藤祭祀課長、抽司監氏及び御親戚よりは閔泳瓚男爵等一行四名は直ちに二臺の自動車に分乘して清涼里方面にいたり精細に

◇下檢分 の上日沒頃引揚げたるが一行は歸還後直ちに閔長官外各課長を召集し凝議する處ありたり右に就き下檢分をなしたる權藤事務官は語る『李太王殿下御葬所に就ては今漸く下檢分を終へて來たのみで是れから長官に報告の上李王家御親戚及び各課長と共に凝議し略は

◇決定を 見た上でなければ何等言明の自由を有せない而し吾々下檢分の一行は清涼里の洪陵を中心として其附近の景趣秀絶で且つ莊嚴な候補地三箇所を選んで精細に調査をして來た凝議の結果三箇所の一となるか或は閔妃の洪陵と列葬せらるゝ事となるか無論不明である又御葬所が決定後如何なる

◇方式に よつて御埋葬せらるゝか之亦不明であるが李朝時代の墓所は各墓所によつて多少、違は免れまいが概して直徑約三間の口徑に深さ廿尺の穴を掘り下げ其中程に靈柩を安置して底砂土石灰を混じて四圍を固く密鎖し其上を土にて高く盛上げ石を以て

◇玉垣を 繞らしてある樣であるが李太王殿下の御葬所が果して此式に則らるゝか否かは疑問であるが古例を破らないとすれば多分此の式に據らるゝ事となるであらう』

（右欄外）民にして……擧國一致……和議判に際し……信せざるに至らば萬事休す吾等はウキルソンの十四則殊に國家……張すると共に翟孚……行して……するの計畫を助長するに至るべ……界に五……の一致あるを要す吾等は向上的

仁川期米

前場	三八、九五	三八、八〇	三八、八二
後場	三八、八五	三八、八〇	三八、八二
高値	三八、八八	三八、七五	三八、六六
安値	……	……	三八、七七

二十五日後場各地入電末營當限二十五圓五十錢中三十五圓二十錢より十錢と押し

◎…父子の情の御物語 孫の顏を見たい
紅人參を賜はりし一昨年の思出
趙重應子爵故殿下の御逸話を語る

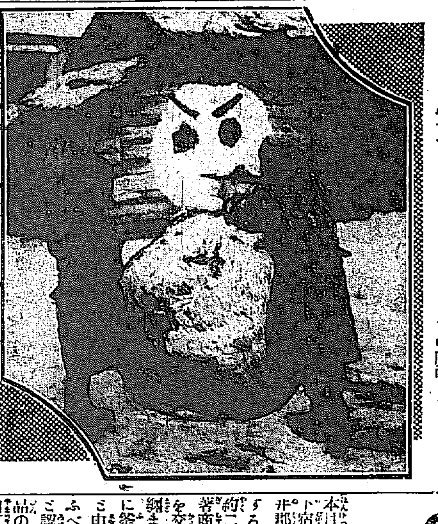
故殿下と不肖との間には可なり逸話があると趙重應子は語る、一昨年だつた私が拜顏の砌殿下には私に對して『卿は始終病氣ばかりして困つてゐるだらう、見れば顏色も大分白くなつたぢやないか』と御秘藏の

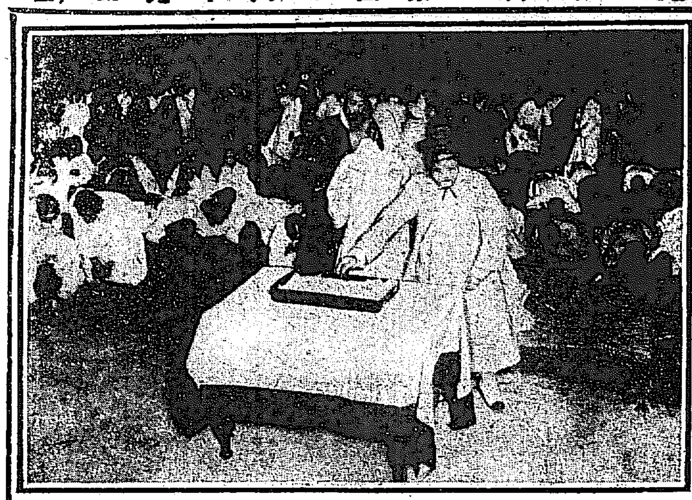
▽紅人參 を賜り乍ら『年はお互に取りたくないものだ、余も還暦を過ぐると年々元氣衰へ足が弱くなり記憶力に乏しく加ふるに食物も昔のやうに味がない、最うかうして行けば余も長い事はあるまい』と仰せあり又『卿の長子大鏑(目下歩兵少尉)は世子の學友で東京へ在るが逢ひたいだらう』と父子の情を推し測られ有難い御言葉があり私は感泣したが『逢ひ度くとも御奉公の身、諦めて居りまする』と言上すると『卿の家には老人(趙子爵母堂)も居る事だから早く大鏑に

▽嫁を貰 はねばなるまい』と仰あり私は御前に欷歔しつゝ言下に『それでは大鏑の少尉任官後嫁でも貰つて東京へ一軒持ます』と申し上げると殿下は『いや余もだん／＼年を取り御奉公も出來ならず加之に世子は皇室より優渥なる愛育を賜はり勉強も出來てゐるが慾を云へば彼れが(世子殿下)東京で早く結婚でも出來たら何も願はない唯早く孫の顏が見たいだらう若し孫でも出來たら大いに振る舞つて好からうぞ』と呵々大笑ひされ私も『それよりは世子殿下に

▽王孫が お出來になれば私等の歡び此上なく其時は目出度い御宴を頂き御喜び申上げます』と申上げたら『卿もよ』と繰り返し／＼申されたが此御物語の中上げ轉て御禮言上の上御前を引下らんとすれば『卿も身體を大事にして長命をせよ然らざれば樂き目にも逢はざれば氣を着けよ』と繰り返し申された。此には恐れ多くて滂沱たる感涙に咽んだが今はたゞかなしくも偲び參らする一つの逸話となつた』

◇雪だるま ＝廿五日市中所見＝





慟哭の聲悲しき夜の大漢門

◎御殊遇の國葬也
◇聖恩優渥感激に堪へぬと金允植子語る
朝鮮にも國葬はあつたが國王以外には決して行はなかつた

李太王殿下の國葬について子爵金允植氏は語つて曰く『國葬仰出されたと云ふ事は京城日報及び每日申報によりて始めて知つたが聖恩洵に感渥、斯くまでに大御心を配らせ給ふかと思ふと實に恐懼に堪わない且つ國葬當日は廢朝仰出されるのみならず態々

▽御名代宮 並に勅使を御差遣遊ばされ東鑑をも廻はせしめらるゝ趣きである破格の御殊遇空前の御盛儀と申すべく故殿下に於かれても漫ろ感激の涙に咽んで居られる事であらう國葬と云ふ事は朝鮮にも昔からあつたが夫には臨時に殯殿都監、山陵都監、葬禮都監と云ふ三つの掛りを設けねばならず且つ莫大な費用を要するので國王以外には決して行はれなかつた言ひ換ふれば國王以外には假令

▽公族でも 國葬になつた人は一人もなかつた夫で國家に勳勞のあつた者が死ぬと閣議によつて『禮葬』と云ふものを奏請する此『禮葬』と內地の國葬とは無論性質は違ふが國家の爲に盡した人の勳勞に酬ひると云ふ一點は同じであるから禮葬を奏請すると勅許があり夫から愈其準備に取り懸ると云ふ順序であるが勅許の文言は『禮日允』と云ふので頗る簡單なものであつた禮葬になれば

▽墳塋の四周 に曲城(石垣)を築く事を許され其前面に石羊石馬を建てる事を許されるのである然し此簡單な事すら容易に許されずに李朝以來禮葬に遭つた人は寥々たるものである、以て如何に此禮葬が重大なものであつたか想察する事が出來るであらう』

◎暗語戰
獨逸の驚くべき十六字
◇年俸五萬圓の暗語學者

何處まで進んだら行止まりになるか知れぬ世の中でエスペラントも新しいかと思つてゐたら茲に暗語の勢力が千萬言以上の勢力を有して居つて將來は必ず是が世界を支配するに至るであらうと謂はれてゐる外事通の談に依ると大戰以前米國の秘密が細大となく獨逸へ洩れるので

◆◆奇怪なり とて政府に調査した處恐るべき獨探の暗號のかゝつて居つたことが判明した而もそれが僅に十六文字を以て總ての事實を報じ得るように巧に編まれてゐたこのことで米國の官憲も一時は舌を捲いたさうだが流石に米國もさるもの知らぬ顏して相變らず跳梁せしめ置いてスツカリ裏を掻いたので折角の暗號も駄目となつたからそれと氣が附いた獨逸では直ちに他の暗語と替たと云ふ此の位だから獨逸の

◆◆暗號發達 は實に世界第一で獨逸に次ぐべき暗號國は無いさうであるから獨逸には年俸五萬圓も貰つて居る高等暗語學者が世界各國の暗語に精通してゐるから日本などの幼稚なるものになると物の一時間も努へたら直にハーンと

◎第三師團豫後備凱旋す
廿六日よりザバイカル方面から
愛婦會員其他龍山驛で勞を犒ふ

ザバイカル方面に於て出征中なりし第三師團豫後備部隊は今回愈凱旋の途に決定し廿六日午前十一時廿七分著の軍隊列車にて龍山著休憩の上同日午後三時出發内地に向ふを始めとして二月十五日に至る廿一日間每日一回宛龍山驛通過凱旋する筈なるが二月十日及び十一、十二日著の部隊に限り著後直ちに龍山七十八、七十九兩聯隊に入り同兵舍に於て

▼宿泊の上 十四日午後十時廿二分發列車にて出發すべしと尚ほ京城愛國婦人會朝鮮本部にては凱旋部隊の勞を犒ひ且つ行を盛んならしむる爲め京城府廳と合同し龍山驛頭に送迎所を設けて茶菓を饗應し府民及び同會々員多數歡迎をなすべく各凱旋部隊に對して各人に洩れなくは記念繪葉書及び朝鮮事情一覽を

▲配布する と因に凱旋部隊の日割左の如し

歸還部隊龍山通過時刻表

自一月二十六日至二月九日每日一回 午前十一時二十七分著午後三時發
二月十日は著發なし
二月十一日一回 午前十一時二十七分著 二月十四日午後三時發(龍山宿營)
二月十一日二回 午前九時廿二分著午前十一時廿七分著十四日午前十時二十二分發(龍山宿營)
二月十二日二回 午前九時廿二分著午前十一時二十七分著二月十四日午前十時二十二分發(龍山宿營)
二月十三日一回 午前十一時二十七分著午後三時發
自二月十四日至十五日每日一回 午前十一時二十七分著午後三時發
註 部隊は十一日十二日午前十一時著の部隊は龍山に宿營し二月十四日午前十時及び午後三時龍山發車歸還

◎虎列拉菌數千億
獨逸の陰謀を物語る秘密の壜
ハバロフスクより參謀本部へ到著

昨年の十一月、既うハバロフスクの街に西伯利の冬が襲うて來た頃カルミコフ軍や我官憲當局から

✿睨まれた 男がゐた瑞典國赤十字社員と稱し、馬を馭して患者の施療に奔走して、左も慈善らしく裝つてゐたが、可なり大きい其の家の中に、恐るべき秘密が包まれてあると云ふ噂が擴まつて『彼は獨探だ!』と人々の口に上つた、と同時に男は姿を隱したそこでカルミコフ軍の哨兵が直ちに

✿家宅搜索 をしたところ果して少からぬ秘密地圖を發見したに、而して歲を越して最近住む人もない其の家は再び嚴密に搜査された、すると獨逸陸軍の用ふる下士以下の軍服約三百著と、虎列拉菌の詰められた壜數百とを發見した、夫が廿一日朝

✿參謀本部 に到著した、軍服は藍色地に牡丹色の袖章が附き、胸には金ボタン七個づゝが二行に光つて居る、又虎列拉菌の壜は一寸餘りのものに十億の菌を含むものと記されてある、戰爭後の獨逸の陰謀を物語る發見品である(東京)

◎贓品を行商
前科十六犯 置所破りの兇賊

本月九日の夜より釜山長手通りの木賃宿業栗野某方へ投宿せる福岡縣三井郡御井町高田四十吉(三七)と自稱する男は翌日より大島紬、縮緬其他約二千圓位の呉服類を同長手通其他著商信岡商店に持ち込み買取りを交渉し結局二百五十圓にて商談纏まりたるも證人なくてはこの事に釜山警察署に到り證明ありたしと申出でたるが其擧動胡亂にて疑ふべき廉多きにより取敢ず浮浪者と認め十五日間の拘留に處し所持品の出所を取り調べたるに下關市山町古物商高田政一(三二)と云ふ弟の品物にて百八十圓にて買取り來りたりと申立てしかば直ちに下關署に照會せしも不得要領なる上に同人は右腕に文身をなし且つ懷中には黑鞘の

▽短刀を 所持せる等怪しむべき點多きより照會せし結果此奴こそは前科十五六犯の山口縣佐波郡中關村宮川正一(四五)にて大分、長崎等にて處刑を受け四十一年には京城郵便局にて約一千圓を窃取なし永登浦監獄に八年の苦役を勤め大正五年十二月に出獄し其後大正七年九月より若松の某旅館にて現金二百二十圓、直方の某旅館に忍び入り現金七百圓、同地中村滿吉方現金百五十圓、山口油田温泉某旅館にて八十圓、釜山にて堀口呉服店に忍び入たる大賊にして其後の犯罪十四件に達する由今回の所持品は福岡縣鞍手郡木屋瀬町字中町呉服商松岡芳太郎(五二)方にて窃取せる贓品なる旨を自白せしかば直ちに直方に照會し店員出張の上取調たるに大部分は同家の被害品なる事判明餘罪取調べ中なるが同人は有名なる

▼留置所 破りにて昨年山口舟木警察署に拘留中同署の留置場を破り逃走し又福岡縣後藤寺警察署より同地方裁判所に護送中逃走今日迄不明なりし者なりと

◎行餘會講演會
總督府給仕連中が組織して居る行餘會にては二十五日午後一時から第一會議室で講演會を催した、大田庶務課長の訓示的講話に次いで上、視察官の運命と努力と題する有益なる講演があり餘興として一囲の謡曲茶菓の饗應があり午後四時散會したと

◎夕闇で金簪を
京城居町大正券番の妓生花妍は廿四日午後七時頃大漢門前に跪坐して申上げ途中武橋通に於て一名の男現はれ矢庭に花妍の髪に挿したる五十五圓の金簪を引拔き夕闇に紛れて何處にか逃走せり

◎水波町子師披露演奏會
筑前琵琶教授水波旭子師は昨年九月斯道研究の爲め東上し同地の宗家より法恩の號を受けて歸城したるが右披露の爲め二十六日午後六時より本町劇場に於て披露演奏會を開催すべしと

◎月やく

月やくとまり月經不順の爲食物胸につかへ時々嘔吐を催し腰部痛み下腹脹張し逆上頭痛等を起こし強く顏色青白く何となく身體の工合惡しく色々他の藥を用ひても効なき心配の方は私方へ迷はず御出で下さい出來ぬ方は返信料添申込あれ害なく治療する妙藥で人助けの爲知らせます
東京市四谷信濃町電車停留場前 大阪北區曾根崎上壹丁目四番地 月經專門藥 總發行所 森田屋

花柳病專門 外科
606
梅毒・痳病・泌尿生殖器病 睾丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院 電話三〇六五番

金牌受領

登録商標
男女頭髪用 本椿ポマード 毛を黒く長くつやを出し 赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙
本舖 大阪西横堀 三宅堂
本椿香油

京城龍山寺各地に僞物あり御注意

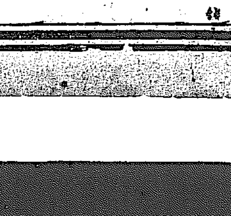
百圓進呈
りん病 ばい毒
帝國醫科大學病院
淋病新主藥は治淋劑とし梅毒新主藥は驅梅内服藥として醫藥學上最有効と確定し吾にて當揚配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈
あらゆる治療を施すも効なき患者は一度來談あれ
大阪 有田 にせ物に東京其他各地にせドラッグあり
大阪有田藥房
京城南大門外 ドラッグ商會
◎にせ物と好商
通貨でも僞造する惡奸ある世の中だから止むを得ざる訳なれど我商會同様の看板を掲げ好商が東京初め各地ににせ物を販賣せり無効の藥劑を販賣せり東京報知東京朝日大阪朝日東京の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御買求の方は大阪有田 買取あれ
京城 南大門外 黄金町三丁目 ドラッグ商會
大阪 三休橋 グッラド 京城南大門外停車場通

眼病に效ある
◎ミツワ點眼液

眼結膜諸症に消炎、痛等の効ある
點眼器附 入金拾五錢
主要成分 硫酸亜鉛、硼酸アムモニウム、精製カンフル(詳細は説明書にあり)
適應症候 流涙、結膜充血、眼病、眼瞼痛、結膜發赤、腫脹、羞明、眼瞼炎、眼灼熱、眼疼痛、眼内異物感、急性結膜炎、トラホーム
眼瞼が腫れ結膜も腫れて紅くなり、涙液が多く出て、羞明しく、眼が或は痒く或は熱く或は痛み、眼の内に何か入つて居るやうにコロ／＼するなどの症候を現はすのは結膜炎、結膜充血、トラホーム等の眼病には、ミツワ硼酸錠を溶かし、それで蒸なり冷すなり又洗ふなりして、ミツワ點眼液を用ふるに限る。本劑は分泌を止め消毒の作用のあるものを主藥とし、それに炎症を消し疼痛を鎭める有効藥を數種加へたものである。
▼如斯人は◎ミツワ點眼液を用ふべし
一、眼が痛くて難儀する人 一、眼が紅く腫れる人 一、眼の充血する人 一、涙液の多く出る人 一、目脂の多く出る人
一、眼の羞明しい人 一、眼の熱い人 一、眼の痒い人 一、眼の疼痛の人
一、眼がゴロ／＼する人 一、流行眼炎の人 一、ただれ目の人 一、疲目の人 一、トラホームの人

◎ミツワ腋臭藥

腋臭を自癒せしむべき制臭制汗藥 一壜金拾錢
主要成分 フオルマリン、サリチール酸、タンニン酸、安息香丁幾(詳細は説明書にあり)
適應症狀 腋臭、食汗、手汗、足汗、其他汗の多き或は臭き病症。
腋臭は青年に最も多く、腋の窩から出る汗が不快な臭氣を放つのである、足汗は足袋や靴下などの爲にむれて分解して惡臭を放ち、それが爲、時には水疱が出來て、痛み或は痒く、足は常に濕氣を帶びて冷たく、凍瘡を起し易い。手汗は神經過敏の少年に多く、手掌が濕つて衣服や器物を汚し、常に紫色を呈して冷たい。是等の腋臭、足汗、手汗にはミツワ腋臭藥を塗るに限る。而して發汗の爲水疱が出來たり、爛れたりした際には、ミツワ撒布藥を用ふるのが好い。
◎如斯人は◎ミツワ腋臭藥を用ふべし
一、腋臭のある人 一、足汗の人 一、臭い汗の出る人 一、手汗の人
一、手足に汗の出過る人 一、食臭のある人

◎ミツワ泥膏

火傷表皮剝脫擦過傷に適用すべき
一壜金十錢
主要成分 酸化亜鉛(詳細は説明書にあり)
適應症候 表皮剝脫、擦過傷、火傷凍瘡、皮膚亀裂、皮膚龜裂、皮膚爛、皮膚潰瘍、毛瘡、漆疹、蕁麻疹、濕疹
ミツワ泥膏の主な成分は收斂藥であつて、之を創面などに塗ると、微細な被膜が出來て、外から來る刺戟を防ぎ、組織液を吸收して創面を乾かし、組織を緊めるものである。それ故表皮剝脫、擦過傷に塗れば、忽ち跡方も無く治る、又火傷などで水疱が出來たときや、皮膚の爛れたり潰れたりしたときに塗れば、疼痛なく痛みも止まり、新しく皮膚が出來る。又濕疹即ち俗に胎毒と云ふに用ふると、瘙痒が減らぎ、ジクジクするのが乾いて了ふと云ふ卓効がある。其の他毛瘡、蕁麻疹、漆疹等に良効がある。
◎如斯人は◎ミツワ泥膏を用ふべし
一、すりむきした人 一、擦過傷した人 一、火傷をした人
一、あかぎれの出來た人 一、皮膚の龜裂た人 一、皮膚の潰瘍た人
一、濕疹の出來た人 一、千筋の出來た人 一、かぶれの出來た人
家庭常備法 定價の半額金廿五錢を郵券にて拂込あれば送呈す

母と子（九十）

北島春石作　森田久畫

破産（三）

雅巳が庭園から引返して見ると、奥様のお藥に代つて、女中のお島が今しも三人の來客を座敷へ案内したところ。

いづれも今日始めて岸上家を訪れたのだが、いよ〳〵會社が瓦解した折、債權者に委任されて囑託執行に押し寄せた執達吏の連中なれば、既に雅巳とは兩三度も顏を合せてゐる。

『やー何うも遠方のところを。』と此方は更に動じた氣振も見せず、『御足勞をかけて相濟まんです。』

『何有。』と、先方でも穩かならず同情を寄せてゐるらしく、わけても五十年配の一名は、親しげに膝を進めて『我々は債權者から委任……』

さうした對話が取交されてゐる間に、他の二人は早くも次の間へ入つて行つたが、俄に激しい語氣で、

『奥様！貴女は何をなさるんで。』と咎め立てる聲。

雅巳は慨然として起上つた。と、彼の二人は左右からお藥の手をとつて、無理やりに此方へ引立てゝ來た。

『ねえ、お前さん達は。』と、もう半狂亂を通り越して、寂からの狂女になつたかと思はれるお藥は、血眼の瞳も定まらず『わたしが自分の物を持出すのに、何で摑みもしない邪魔をするんだい。』

『いや、貴女の物であらうとも、斯うして御富家にある以上は、一應……

……れたまゝに、たゞ御富家の財産を……に付して差押へを履行すれば……』

『いや、その御同情に對しては……』と、雅巳の顏には苦笑の影が刷まれた『岸上家の全財産を擲じて事業を企てた以上、會社の……落と共に斯なるべきは豫期してゐたところで。然し、何とかして此の苦境を切拔けようと、昨年來いろ〳〵奔走した甲斐もなく、ついに貴下方のお手數を煩はすことに……事こゝに到つては如何とも是非がない、僕も今度は男らしく諦めました。』

『實に殘念なことで。』と、卷貴な一嘆しながら『さう云ふ御決心を承はれば、猶以てお氣の毒とは存じながら、一時家財全部の差押へを致すことにします。』と膝を直す『それにしても、斯う云ふ事には馴れてゐるもの、あまり我々も好い氣持はせんですよ。』

へ一品でも手を付ける事は出來んです。而し、それでもお聞き入れがなくば、貴女は法律上の罪人となりますぞ。』

『そ、そんな馬鹿々々しいことが……お前さん達こそ飛んだ馳ちがひをしてるんだよ。わたしはね、内藏の妻にはなつてるけど、こゝの主人とは何の關係もなく、手取早く言つたら假のい、同居人なんだから、自分の物を持出すに故障を言はれて堪まるものかね。』

いかに狼狽へたとは云ひながら、三年あまりも同棲せる妻の口より、斯うした言葉を聞いては打捨ておかれず、雅巳は我を忘れて一喝した。

『お藥！あまりに見苦しい眞似をするな、皆樣は彼方へ引つ込んで居れ。』

『誰が……誰が何と言つたつて、自分の物を差押へなんかさせるものか。そして、お前さんのやうな意氣地なしにや愛憎がつきたからわたしや今日かぎりお暇を貰ひますよ。』

その凄じい劍幕におびれて、……間では呆がわつと泣出した。……はたゞ無念の拳を握り……

○注意すべき子供の食物

一物兒に代に對した習慣は永久の習慣となる

兒は消化機能が完全でないから物は能く選定して調理法にも條理を整せねばならぬ、殊に幼兒の代につけた習慣は永久の習慣となるから、食事の時刻ふ飛ぶ食事中の行儀口中の清潔等に對しても

◆親達は充分注意しないと惡習慣をつける事になります、二三歳の乳離れの頃は、粥状の物と淡泊な、鳥肉、細末にした獸肉、又消化し易い野菜を攝取させるのが宜い、三四歳にもなつたら少量果物、刺戟の無い飲料などを與へ、成齡期になつた消化困難でないものなら、何でも與へて宜い、そこで植物性の

◆食品として粥、飯、饂飩、魚、馬鈴薯、野菜、豆腐等よりも蘭類や筍や海藻類は消化が悪い、飲料は白湯、麥茶等がよく、サイダー

は少量ならばよい、菓子類では鹽煎餅、ビスケット、ボール、パン、カステーラ

◆葛餅　鬼の露、デザール、スター、ヴエーファース は良いが、餡菓子や駄菓子は成可く避けさせる。が小兒の獨ひである、與へるにしても少量にして置かねばならぬ、チヨコレートや金平糖や甘納豆、有平糖等は消化不良である、又食事上の注意としては、二三歳は三時間毎に、五六歳は午前午後に時間を定めて間食をさせる可く

◆芥子　胡椒等は與へない方がよい、又就寢前は食を取らせぬやうにする之れ安眠を妨げ消化機能を害するからである幼兒は大人と食物の嗜好を異にするから分量の種類を變化し又その調理法を

かへる事に努めること、そして可く好き嫌ひをさせぬ樣に躾けるが

◆肝要である、四、五歳にもなつたならば食事上の作法を敎へ、即ち箸の持方とか茶碗お椀の置方等を敎へるやうにするのである

近頃よく賣れますキャラメルは滋養滋血液增進のライオンキャラメルで有ます試に召上て御賞翫遊ばせ

京城本町　發賣元　德永商店　電話一二七三番

院長舊臘來肛門ノ研究ノ爲上京シ皮膚科ニ歸院從前ノ皮膚科ニ肛門病科ヲ併置シ診療致候

京城明治町二丁目　皮膚科　肛門病科　佐藤病院　電話一一七二番

綠の平和色に
新花鳥模樣
流行界の新傾向

久しい戰爭が終つて平和が迎へられた今日は新しい流行が生れると云ふ事ですこれに就き某呉服店の技術家の話を聞くと『先づ和色』としては古來の

◆戰亂の跡を受けた泰西には必ず新流行が現はれ所謂平和色と云ふものが生れると、白、黄、中でも風説によると平和色として、感を與へる色彩、グリーンだといはれます、これは平和、靜肅の

◆中性の狀があり、緑と、の色、藤物、背の服を現はしたもので不和色には設計と感じたのと思ひます、殊に日本は大戰亂に參加しながら直接に汚されなかつたので、其の洋の白然美を表現する爲めに、新しい

◆花鳥模樣を、平和の趣を模樣として日本、支那、印度の純日本模樣を採つてこれに新味を加へたいと思つて居ります、なほこの色に色彩の統一に、使用すべき淡い色、混亂しないやうに一色乃至三色以內の單色、統一ある色を用ゐる考へで居ります（……）

白鐵俳壇

國境吟社（第六回公州）

庭を掃ふバッタの花三日の月　方八
寂や詰物石に沁む灯影　同
終夜ア齒痛止りけり納豆汁　同
寺に亀も守の前や干大根　同
木兎や佛の下に住む小家　同
堰水りて冷かな石や冬野原　同
御工場に納豆賣來ぬ煙り炭　同
木兎や一ト寐入きたる炉の廟　士狐

新刊紹介（到着順）

▲新評知（一〇一）五月、東京本橋區南傳馬町三の二二其社
▲我が家（二三）五月、東京麹町區飯田町帝國在郷軍人會本部
▲住宅（四の一）十五錢東京芝琴平町一住宅改良會
▲養雞と園藝（六の一）二十錢、兵庫縣明石郡鳴尾其社
▲刀劍と歷史（一〇〇）二十五錢、東京下谷區谷南稻荷町羽沢文庫
▲新少女（五の一）廿五錢、東京四谷左門町一四八婦人之友社
▲常識電學　明日電學の智識に……實用法の……等に……東京博文館
▲文は人なり　姉崎嘲風……
▲二週一讀……
▲選寶……
▲大正英……

▲寶石アンペラ……　金川商會　電話……

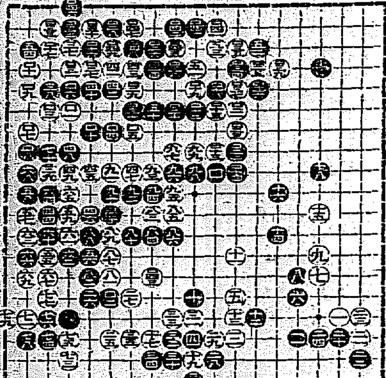
冬の句

讀みし書の炬燵櫓や冬至哉　同
帰り落る夕日の色や冬野原　同
開き吠ゆる鳥の聲や花八手　末刀
木兎や水苔して寺の前　同
霰を張る冬の落ち來る凩哉　司
家門高き扉子と家や花八手　同
大根の椀にも笑むの時に食せ　空堂
夫れ吊す枯木の中の小家哉　同
南窓の庇に常も冬至かな　孤山
洞爺皆我に澄なる凩哉　同
烏われて高飛ぶ鶏や花八手　孤秋
蜜燭に人親むや冬至の夜　同
水仙に朝の湯沸る冬至かな　无一
村公事の齊釀むるや冬野原　碓

碁戰（十）

三段　山平
二子　白南

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一



美の素
クラブ白粉

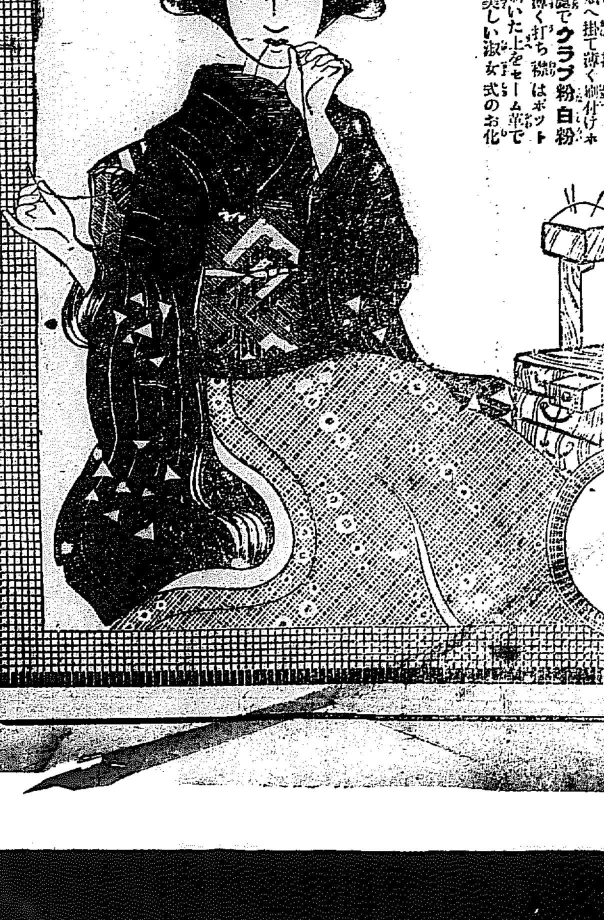
美人にある近道

お美しい上にも尙美しくありたい

結婚前の

お嬢樣方のお化粧には「美の素」として有名なクラブ白粉應用の淑女式お化粧法が全國一般に一番歡迎されて居ります……（圖解御參照）

其方法は先づクラブ洗粉で御洗顏の後クラブ美身クリームを顏から頸へ掛て塗り蒸タオルで輕く拭取りクラブ白粉を常に取て指先でよく煉て付け（襟は顏より少し濃く）牡丹刷毛で白粉を延ばし水刷毛で均し濕タオルで押へて白粉を落付かせクラブ頰紅を目の下から頰へ掛て薄く刷付けオジノリと櫻色になつた處でクラブ粉白粉をセーム革に付て顏に薄く打ち襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム革で輕く打ちますと高尙で美しい淑女式のお化粧が忽ち出來上ります



お化粧の順序
クラブ洗粉
クラブクリーム
クラブ白粉
牡丹はけ
水はけ
ぬれタオル
クラブ頰紅
クラブ粉白粉
美人